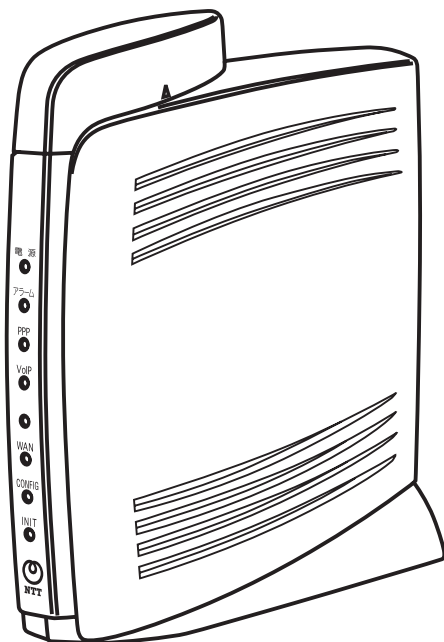
WBC V110M 取扱説明書

このたびは、WBC V110Mをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- 本商品は「ひかり電話」対応商品です。ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、本書最終ページのお問い合わせ先窓口にご連絡願います。

本書中のマーク説明

マーク	説明
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱う上での注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。
⃠	記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のTELポートは、加入電話の仕様とは完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸脱したために生じた損害や、万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとともなりますので絶対におやめください。
- 他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のお問い合わせ先窓口へお申しつけください。
- 取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがありますのでご注意ください。
- 一部、光の具合によってはキズに見える部分があります。製造過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してご使用ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

 電源プラグを抜く	●**次のような場合には電源プラグを電源コンセントから抜く** 火災、感電、故障の原因となることがあります。当社のお問い合わせ先窓口に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 • 異臭、異音、煙が発生した場合 • 本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合
 水ぬれ禁止	●**水は禁物** 火災、感電、故障の原因となることがあります。水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、水が入ったり、ぬらした場合は、電源プラグやACアダプタ、電話機コードのモジュラプラグをそれぞれ電源コンセントや電話機モジュラジャックから抜いて、当社のお問合せ先窓口にご連絡ください。また、電話機コードのモジュラプラグ、LANケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。
 禁止	●**異物を入れたり、落としたりしない** 火災、感電、故障の原因となることがあります。本商品の内部やACアダプタ、電話機コード、電話機コードのモジュラプラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源プラグやACアダプタ、電話機コードのモジュラプラグをそれぞれ電源コンセントや電話機モジュラジャックから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 分解禁止	●**分解や改造をしない** 火災、感電、故障の原因となることがあります。本商品の分解や改造はしないでください。
 接触禁止	●**内部には触らない** キャビネットを外したり、内部に触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。

⚠警告

禁止

●次のようなものをそばに置かない

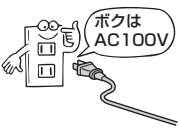
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。本商品、ACアダプタ、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラプラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタのそばに花びん、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。本商品、ACアダプタ、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラプラグ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●次のような場所には置かない

本商品やACアダプタ、電話機コード、LANケーブルを次のような環境に置かないでください。火災、感電、誤動作、故障の原因となることがあります。

- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ
- 調理台のそばなど油飛びや湯気があたるような場所
- ちりやほこりの多い場所
- 鉄粉、腐食性ガス、有毒ガスが発生する場所
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）

禁止

●熱に注意

火災、感電、故障の原因となります。熱器具に近づけたり、直射日光のあたるところや燃えやすいものの近くに置かないでください。
また通風孔をふさぐような使い方をしないでください。以下のような使い方をすると熱がこもり、火災、感電、故障の原因となります。

- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。
- 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
- 紙、本などを載せたり立て掛けたりする。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

禁止

●誤った電源の使い方をしない

火災、感電の原因となることがあります。

- AC 100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

電源プラグを抜く

●雷のときは使用を控える

火災、感電、故障の原因となることがあります。電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

禁止

●ACアダプタやコードを傷つけない

火災、感電、故障の原因となることがあります。ACアダプタコードが傷んだ場合はすぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口に修理をご依頼ください。

- ACアダプタコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したりしないでください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で操作しない

感電の原因となることがあります。ぬれた手で本商品の操作やACアダプタ、電話機コードのモジュラプラグ、LANケーブルの抜き差しをしないでください。

必ず守る

●アースを使用する

万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、火災防止、機器保護のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。

禁止

●付属のもの以外のACアダプタを使用しない

火災、感電、故障の原因となることがあります。また、付属のACアダプタおよびACアダプタコードを他の接続機器には使用しないでください。

⚠警告

必ず守る	**●電源は確実に差し込む** 火災、感電、故障の原因となることがあります。 • 必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。 • 電源プラグは確実に差し込み、電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。
必ず守る	**●ほこりは定期的に取る** 火災、感電、故障の原因となります。電源プラグはほこりが付着していないことを確認してから、電源コンセントに差し込んでください。また、半年に1回程度、電源プラグと電源コンセントの間のほこりを取り除いてください。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
禁止	**●医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しない** 人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
禁止	**●接続に注意** 誤った接続をすると、火災、感電、故障の原因となります。 • LAN側接続ポート、WAN側接続ポートに接続したLANケーブルを商用電源、電話回線などには接続しないでください。 • 電源プラグをショートしないでください。
電源プラグを抜く	**●こんなときには電源を抜く** 火災、感電、故障の原因となることがあります。 • 移動させる場合は電源プラグを電源コンセントから抜き、電話機コードなどを差込口から抜いて、外部の接続線をすべて外したことを確認の上、行ってください。 • 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 • 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠警告

禁止

● **使用が禁止された場所では使わない**

本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。また、自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くで使用しないでください。

お使いになる前に（設置環境）

⚠注意

 禁止	**●不適切な場所に設置しない** バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。誤動作、故障の原因となることもあります。 • ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 • 上に物を置かないでください。 • 振動、衝撃の多い場所に置かないでください。
 禁止	**●不適切な置き方をしない** 横置き、逆さまの状態での設置、重ね置きはしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。また内部に熱がこもり誤動作、故障の原因となることがあります。

お使いのとき

⚠注意

禁止	●タコ足配線をしない テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線をすると、火災、過熱、感電の原因となることがあります。
必ず守る	●確認のとれた機器を接続する お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のお問い合わせ先窓口に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
禁止	●電源コードには延長コードは使わない 火災の原因となることがあります。
必ず守る	●お手入れのときには • 安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因となることがあります。 • 水または中性洗剤以外は絶対使用しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
禁止	●本商品には乗らない 壊れてけがの原因になることがあります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

取り扱いについて

お願い

禁止	**●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかない** 変色、変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし電話機コードのモジュラプラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないで下さい。本商品やモジュラジャックに液体が入らないよう注意してください。
禁止	**●乱暴に取り扱わない** 誤動作や故障の原因となることがあります。落としたり、重い物を乗せたり、強い衝撃を与えないでください。
必ず守る	**●結露に注意** 故障の原因となることがあります。周囲温度の急激な変化によって内部が結露した場合、周囲の温度になじむまで1時間程度放置してから電源を入れてください。

置き場所について

お願い

必ず守る	**●強い磁界や電磁波の発生源から離す** （電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など） • 誤動作、故障の原因となることがあります。離れた場所に設置してください。 • 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。 • テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。 • 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、設置場所を移動してみてください。
 禁止	**●特に温度が下がるところには置かない** 正常に動作しないことがあります。製氷倉庫などに置かないでください。
 禁止	**●硫化水素が発生する場所（温泉地）などには置かない** 本商品の寿命が短くなることがあります。
 禁止	**●表面が熱に弱い場所には置かない** 変色、変形する場合があります。高級家具の上などはご注意ください。

お使いのとき

	●電源を再度入れる場合はしばらくたってから 故障の原因となります。電源を切った状態から5秒以上経ったあとに行ってください。
	●使用中は電源を切らない 設定変更中やバージョンアップ中の場合、回復不能な故障の原因になることがあります。
	●幹線通信機器や電算機システムでは使用しない 社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
	●データの保管 故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生するおそれがあります。本商品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は致しかねます。あらかじめ冗長性のあるシステム設計、バックアップなど構成してください。

目　次

3 ひかり電話を利用する

4 パソコンを設定する

5 インターネットに接続する

目 次

6 無線LANを利用する

7 バージョンアップする

8 故障かな？と思ったら

9 付録

WBC V110Mでできること

WBC V110Mとは

本商品は、ひかり電話対応機器です。
Bフレッツの回線終端装置/VDSLモデムなどにつなぐことで、ひかり電話を利用することができると共に、複数のパソコンでインターネット接続もできます。
本商品に対応した無線LANカードを取り付けることにより、無線LAN機能を利用することも可能です。

特長

- **ひかり電話対応機器です**
  電話機能を内蔵し、ひかり電話を介して他のひかり電話や加入電話、携帯電話などと通話できます。
  緊急通報（110/118/119)もご利用可能です。
- **ひかり電話の各種サービスに対応**
  キャッチホン、ナンバー・ディスプレイなどのひかり電話各種サービスに対応しています。
- **無線LAN対応※**
  無線LANカードを取り付けたパソコンからインターネット利用が可能です。
- **Bフレッツに対応**
  Bフレッツの各種サービスに対応しています。
- **マルチセッション対応**
  2つのPPPoEセッションを同時に使用することが可能です。
- **複数台のパソコンを同時につなげます**
  複数台のパソコンから同時にインターネット利用が可能です。
- **UPnP、Unnumbered接続等各種ルータ機能搭載**
  設定については詳細取扱説明書をご覧ください。
- **バージョンアップ機能搭載**
  最新のファームウェア情報を確認した場合、電話機やWebブラウザによりお知らせします。自動的にバージョンアップを実行する設定も可能です。
  ファームウェアのバージョンアップを行っていただくことにより本商品の機能を最新の状態に保つことができます。

※ 別途専用無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g）が、本商品側とパソコン側に必要です。

マニュアル構成／マニュアルの見かた

本商品のマニュアル構成とマニュアルの見かたについて説明します。

マニュアル構成

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書（本書）
WBC V110Mの基本機能についての説明書です。

詳細取扱説明書（CD-ROMにPDFファイルで収録しています）
本書には記載されていないWBC V110Mのより詳細な機能について解説しています。

※CD-ROMの操作方法について（詳細取扱説明書を見るには（☛P21））

マニュアル構成／マニュアルの見かた

本書の見かた

本書は下記のように構成されています。

1 最初に確認する

最初に必ず確認していただきたいことについて説明しています。

2 本商品を設置する

本商品の設置方法と本商品の電源を入れたあとに確認する項目について説明しています。

3 ひかり電話を利用する

本商品に接続した電話機でひかり電話をご利用いただく方法について説明しています。

4 パソコンを設定する

本商品の設定は接続したパソコンから行います。ここでは本商品に接続するためにパソコン側で行う設定の手順について説明しています。
また、Webブラウザを使ってパソコンから行うことができる本商品の設定機能について概要を説明しています。

5 インターネットに接続する

本商品にパソコンを接続し、インターネットに接続するまでの手順について説明しています。

6 無線LANを利用する

本商品を無線LANのアクセスポイントとして利用する場合の設定について説明しています。

7 バージョンアップする

本商品を最新の状態にバージョンアップする方法について説明しています。

8 故障かな？と思ったら

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときにお読みください。

9 付録

本商品の設定を行うパソコンのOSがWindows Vista™ 以外の場合のパソコンのネットワーク設定手順について説明しています。また、付録として本商品の初期化方法などについても記載しています。

詳細取扱説明書を見るには

本商品のより詳細な機能については、「WBC V110M 専用CD-ROM」に収録されている「詳細取扱説明書」をご覧ください。

■CD-ROMの取扱上・保管上の注意

1. ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
2. ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
3. ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
4. ひび割れや変形、また接着剤等で補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
5. 直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
6. ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。

●Windows® の場合

1 「WBC V110M専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

2 「詳細取扱説明書」をクリックする

●Mac OSの場合

1 「WBC V110M専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットして、CD-ROMのアイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示されます。

2 「MANUAL」をダブルクリックする

3 「詳細取扱説明書」をダブルクリックする

お知らせ

- Adobe Readerをインストールされていない方や、詳細取扱説明書の内容が正常に表示できない方はメニュー画面の「Acrobat Readerのインストール」をクリックして、インストールしてください。
- 設定や環境により、自動的に起動できない場合があります。その場合には、「コンピュータ」をダブルクリックしてコンピュータの内容を表示します。
  その中から、「WBC V110M専用CD-ROM」のアイコンをダブルクリックします。それでも起動しない場合は、V110M.exeのアイコンを探してダブルクリックすると、起動します。

マニュアル構成／マニュアルの見かた

詳細取扱説明書　概要

詳細取扱説明書に記載されている項目は以下のとおりです。

1 こんなときにはこの設定にする

本商品のサービス機能を使うときの設定方法について説明します。
（音声・ビデオチャットを使用するには/その他）

2 本商品の設定画面

本商品のデータ設定、状態確認などの保守方法について説明します。Webブラウザを使用します。
かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などのメニューがあります。メニューをクリックすると各種Webブラウザ設定画面が表示されます。この章では画面単位で用途や操作方法について説明します。

付録：設定記入シート、用語集

ご利用前の注意事項

ひかり電話をご利用いただく上での注意事項

- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用になることはできません。
- 本商品の電源が切れた場合や再起動中、バージョンアップ中は、ひかり電話をご利用になることはできません。
- 本商品に接続している電話機のACR（LCR）機能や、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能が動作している場合、ひかり電話が使用できない場合があります。必ず電話機のACR（LCR）機能または、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能を無効にしてください。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- 本商品は、ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- 本商品のTELポートは加入電話の仕様と完全には一致していません。電話機を本商品と接続する場合、電話機の一部機能がご利用いただけない場合があります。

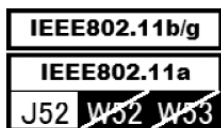
ご利用前の注意事項

電波に関するご注意
(Web Caster FT-STC-Va/g取り付け時にお読みください)

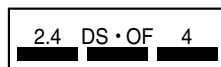
本商品※の使用周波数帯では、電子レンジや産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

1. 無線LANカードをご利用になる場合は、本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3. その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきた場合には、当社のお問い合わせ先窓口へご連絡ください。

- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
  - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ(電子レンジ付近など)
  - ・金属製の壁(金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む)の部屋
  - ・異なる階の部屋どうし
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANをご利用の場合、周囲の電波状態によっては、本商品の動作に影響の出る場合がありますので、ご了承ください。
- 本商品を5.2GHz帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により5.2GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ5.2GHz帯の電波を無効にしてください。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53

J52：5.2GHz帯で使用可能なチャネルはch34、ch38、ch42、ch46です。

- 本商品は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDSSS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4 DS・OF 4

2.4	：	2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS・OF	：	変調方式を示す
4	：	想定される干渉距離が40m以下であること
■■■	：	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避することを意味する

- 本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・本商品を分解／改造すること

※ここでは「本商品」とはWeb Caster FT-STC-Va/g取り付け時を示します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
(Web Caster FT-STC-Va/g取り付け時にお読みください)

無線LANでは、LANケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報やメールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
●不正に侵入される
悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスした場合、次のような危険にさらされる可能性があります。
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、不正にひかり電話を利用する(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行ってから製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本商品を使用することをお奨めします。

お客様情報に関するご注意

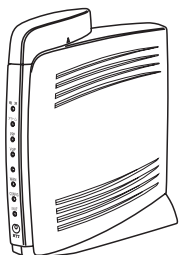
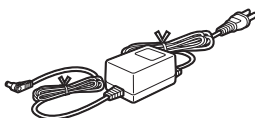
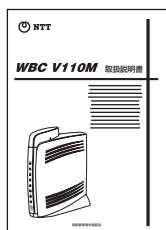
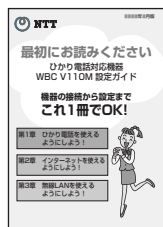
●本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
●各種のユーザ名(ID)、パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。
●本商品を返却などされるときは、本商品を初期化して本商品内のデータを必ず消去してください。
●本商品の初期化は、本書「付録」の「本商品の初期化について(☛P9-18)」に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

1 最初に確認する

最初に必ずこの章を確認してください。

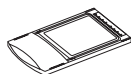
必要なものを確認する

設置を始める前に、必要なものがそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。

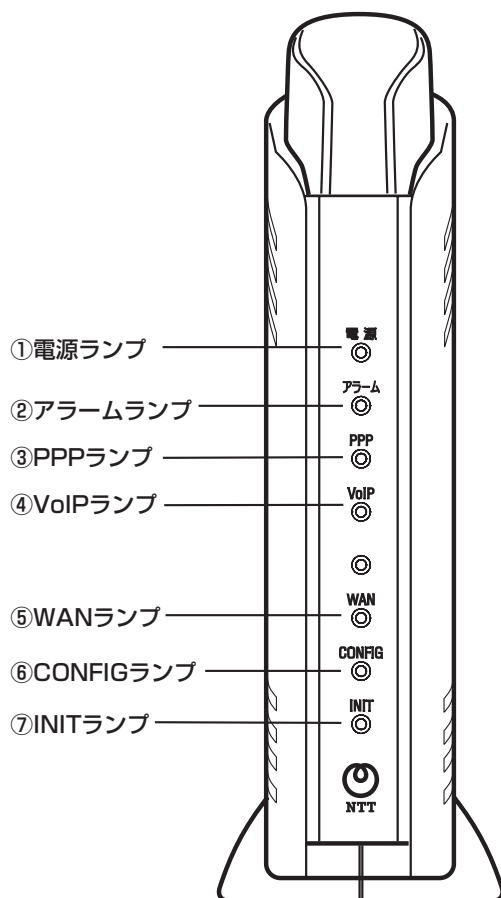
●セットの内容

● お客様にご用意いただくもの

・**電話機と電話コード**
ホームテレホンの電話機やデジタル電話機等は接続できません。
電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。
電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「＊」や「#」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。

・**専用無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g）**
無線LANをご利用になる場合、本商品側とパソコン側の両方に必要です。

・**パソコン**
CD-ROMドライブ内蔵パソコンまたは別途CD-ROMドライブをご用意ください。
無線LANをご利用になる場合、Card Bus対応のPCカードスロットを持ったパソコンが必要となります。
10BASE-T、10BASE-T/100BASE-TX(推奨)に対応したLANインタフェースを、設定に使用するパソコンが内蔵していない場合、別途LANアダプタ等が必要になります。

・**開通のご案内**
・**プロバイダの設定情報**
・**回線終端装置/VDSLモデムなど当社が設置した機器**

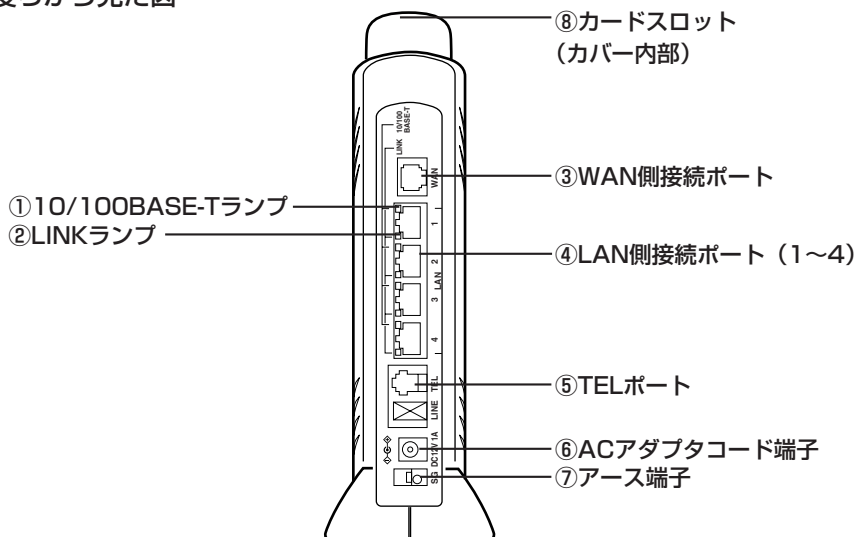
各部の名前

●前から見た図

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方(色)	本商品の状態
①電源ランプ	消灯	本商品に電源が入っていないとき※3
	点灯（緑）	本商品に電源が入っているとき
②アラームランプ	消灯	正常な状態
	点灯（赤）	装置障害※3
	点滅（赤）	装置障害※3
③PPPランプ	消灯	オフライン状態のとき※3
	点灯（緑）	1セッション接続中
	点灯（橙）	2セッション接続中
④VoIPランプ	消灯	ひかり電話がご利用できない状態のとき※3
	点灯（緑）	ひかり電話がご利用可能のとき
	点滅（緑）	ひかり電話で通話中／着信中／呼出中
⑤WANランプ	消灯	WAN回線がご利用できない状態のとき※3
	点灯（緑）	WAN回線がご利用可能のとき
	点滅（緑）	WAN回線でデータ通信中
⑥CONFIGランプ	消灯	ひかり電話設定が未設定のとき
	点灯（緑）	ひかり電話設定が設定完了しているとき
	点滅（緑）	ひかり電話設定が設定中のとき※3
	点灯（赤）	ひかり電話設定が失敗したとき（認証エラー）※3
	点滅（赤）	ひかり電話設定が失敗したとき（その他のエラー）※3
⑦INITランプ	消灯	通常の状態
	点灯（赤）	初期設定状態※3

※1本商品の電源を入れたとき、全ランプが一度点灯します。
※2バージョンアップ中は全ランプが点灯(WANランプは点灯または点滅)します。
※3「8章　故障かな？と思ったら」を参照してください。

各部の名前

●後ろから見た図

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方(色)	本商品の状態
①10/100BASE-T ランプ(4個)	消灯	10 Mbpsでデータ送受信可能のとき
	点灯（緑）	100 Mbpsでデータ送受信可能のとき
②LINKランプ(4個)	消灯	LANがご利用できない状態のとき※1
	点灯（緑）	LANがご利用可能のとき
	点滅（緑）	LANでデータ通信中

※1「8章　故障かな？と思ったら」を参照してください。

【ポート名等】

名称	説明
③WAN側接続ポート	回線終端装置/ VDSLモデム等のLANポートと接続します。
④LAN側接続ポート(1～4)	パソコンのLANポートと接続します。
⑤TELポート	電話機と接続します。
⑥ACアダプタコード端子	ACアダプタを接続します。
⑦アース端子	アースへ接続します。安全のためにアース線の接続をお勧めします。(※)
⑧カードスロット	無線LANアクセスポイントとして利用する場合、無線LANカードを取り付けます。（「② 本商品に無線LANカードを取り付ける」（☛P6-4））

（※）アース線を取り付ける場合、線材はAWG18（銅線の断面積0.8 mm^2相当）程度の軟銅線をご用意いただき、接続してください。

セットアップする

セットアップの流れを説明します。
ご利用になる機能に応じて、必要な手順の説明箇所をご参照ください。

セットアップの流れ

電話をかけたり受けたりできるようにする（STEP1）

本商品をBフレッツに接続し、電話機をつなげて通話ができるようにします。

接続に必要なものを確認します

「必要なものを確認する」（☛P1-2）

接続の方法を確認します

●「Bフレッツ（ハイパーファミリータイプ／マンションタイプ光配線方式）〔NTT東日本〕に接続する」（☛P2-2）
●「Bフレッツ マンションタイプVDSL方式に接続する」（☛P2-4）
●「Bフレッツ マンションタイプLAN配線方式に接続する」（☛P2-6）

電話が使えるようになります

●「電話をかけるには（発信）」（☛P3-2）
●「電話を受けるには（着信）」（☛P3-3）
●「ひかり電話の付加サービスを利用するには」（☛P3-4）

インターネットや無線LANをできるようにする（STEP2）

本商品に設定を行って、インターネットと無線LANを利用できるようにします。
※パソコンのOSにWindows® 2000、Windows® XPまたはWindows® Vista™をご利用のお客様は、「まるごと設定ツール」を使用してセットアップができます。（「まるごと設定ツールを使用してセットアップを行う」（☛P1-9））

パソコンの設定をする

●Windows Vista™をお使いの場合
「パソコンを設定する（Windows Vista™の場合）」（☛P4-3）
●Windows Vista™以外のOSをお使いの場合
「パソコンのネットワーク設定」（☛P9-2）

Webブラウザの設定をする

●「Webブラウザの設定」（☛P4-6）

インターネットに接続する

●「かんたん設定」（☛P5-2）
●「フレッツ・スクウェアへの接続」（☛P5-8）

無線LANを利用する

本商品を無線LANアクセスポイントとした無線LAN機能をご利用になる場合は、本商品とパソコンに無線LANの設定を行います。
●「6章無線LANを利用する」（☛P6-1）

（次ページに続く）

セットアップする

バージョンアップの設定をする（STEP3）

本商品の機能を最新の状態に保つことができます。

バージョンアップ機能を利用する

●「自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする」（☛P7-3）
●「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛P7-5）

お願い

● 本書に記載した機器の接続、およびインターネット接続は、なるべく当社よりお知らせしたひかり電話の開通日以降に実施してください。
ひかり電話開通日以前から本商品にてインターネット接続を行った場合は、ひかり電話開通日を過ぎても、ひかり電話がご利用いただけません。その場合には、本商品の電源を入れ直すことでご利用可能となります。また、ひかり電話の契約内容を変更された場合においても、新契約での利用開始日に電源を入れ直してください。
● ひかり電話の開通日以前にインターネット接続を利用される場合は、機器を接続し、電源を入れたあと、本商品正面のCONFIGランプが赤点灯または赤点滅するまで、数分～20分程度お待ちいただいたのち、設定を行ってください。
●「フレッツ接続ツール」をご利用になっていたお客様は、STEP2を行う前に、「フレッツ接続ツール」をアンインストールしてください。
● Web Caster FT-STC-Va/g以外の無線LANカードをご利用になっていたお客様は、STEP2を行う前に無線LANカードのドライバをアンインストールしてください。

まるごと設定ツールを使用してセットアップを行う

まるごと設定ツールは、本商品とお客様のパソコンのインターネット接続、フレッツ・スクウェア接続、無線LAN設定を一括して行うツールです。
まるごと設定ツールの画面に表示される手順にしたがって設定を進めていただければ、ネットワークや無線LANの複雑な設定項目を意識することなく、簡単な操作でインターネット接続とフレッツ・スクウェア接続が完了します。本商品とパソコンの間の通信は暗号化された無線LAN接続となるので安心してご利用になれます。
まるごと設定ツールの使用方法は、別冊の「最初にお読みください」を参照してください。

お知らせ

まるごと設定ツールの動作環境は以下のとおりです。

- パソコン
  Windows® 2000、Windows® XPまたはWindows Vista™のいずれかのOSが動作すること。
  800×600ピクセル以上の画面表示領域があること。
  CardBus対応のPCスロット、CD-ROMドライブ、および10BASE-T/100BASE-TXに対応したネットワークポートを備えていること。
  Internet Explorer 5.5、Internet Explorer 6またはInternet Explorer 7のWebブラウザがインストールされていること。
- 無線LANカード
  本商品で無線LANをご利用いただくためには、本商品専用の無線LANカードWeb Caster FT-STC-Va/gが本商品に装着されている必要があります。
  まるごと設定ツールをご利用になりパソコンの無線LAN設定を行うためには、パソコン側にもWeb Caster FT-STC-Va/gをご用意ください。
- まるごと設定ツールをご利用になる前に環境の確認を行ってください
  ファイアウォール、ウイルスチェック等を含む起動中のソフトウェアは、すべて終了させてください。動作させたままでいると本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトウェアを起動し、元に戻してください。
  フレッツ接続ツールを利用の場合、フレッツ接続ツールのアンインストールを実施してください。
  無線LANをご利用の場合､現在までご利用の無線LANカードドライバのアンインストールを実施してください。
  無線LANカードドライバのアンインストールは、各製品の取扱説明書をご参照ください。

お願い

- まるごと設定ツールでの設定中に万が一表示が先に進まなくなった場合は、「Alt+Tab」キー、または「Alt+Esc」キーを押してダイアログボックスが背面に表示されていないかをご確認ください。まるごと設定ツール画面以外（エクスプローラ、詳細取扱説明書等）が前面に表示された場合も、同様に「Alt+Tab」キー、または「Alt+Esc」キーを押して画面を切り替え、設定を続けてください。

ワンポイント

- まるごと設定ツールユーティリティをアンインストールする場合は、WBC V110M専用CD-ROMをパソコンにセットし、メニュー画面から「Windows® XP/2000、Windows Vista™専用まるごと設定ツール」をクリックしてください。まるごと設定ツールが起動しますので、「まるごと設定ツールユーティリティをアンインストールする」をクリックし、表示される手順に従いアンインストールを実施してください。

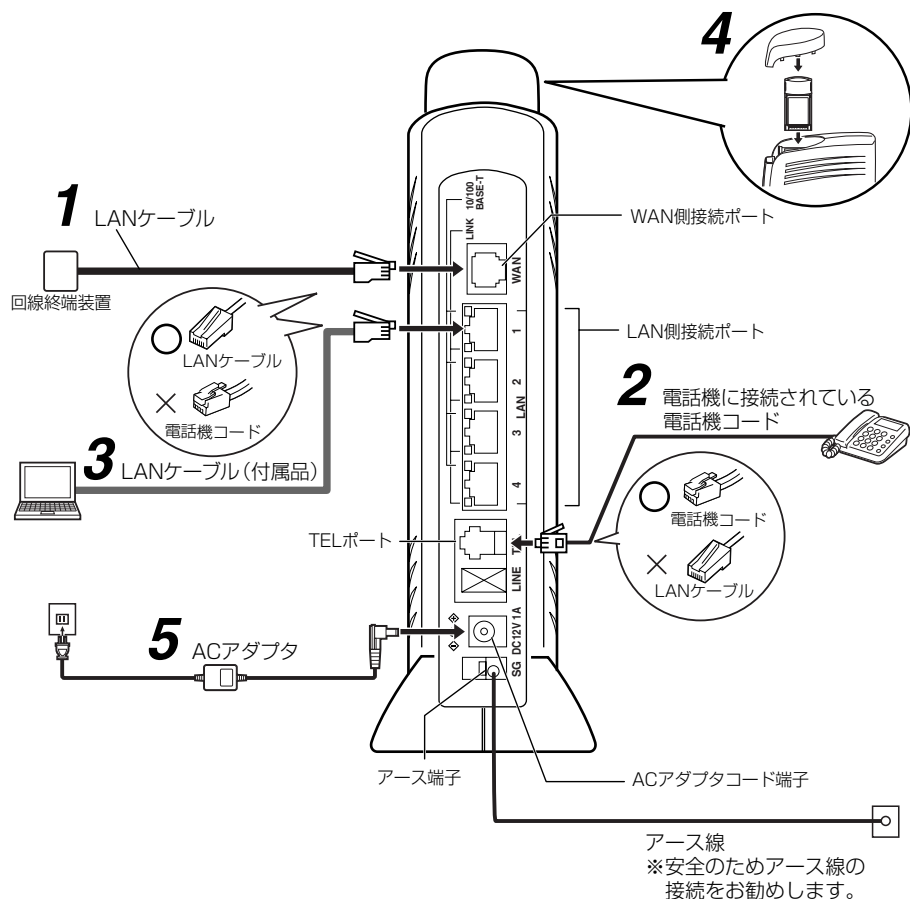
2 本商品を設置する

本商品の設置方法と、本商品の電源を入れたあとに確認することについて説明します。本章の内容を実施することにより、ひかり電話をご使用いただくことができます。

回線を接続する

ご利用の回線によって接続方法が異なります。
Bフレッツ（ハイパーファミリータイプ／マンションタイプ光配線方式）〔NTT東日本〕に接続する場合（☛下記）
Bフレッツ マンションタイプ VDSL方式に接続する場合（☛P2-4）
Bフレッツ マンションタイプ LAN配線方式に接続する場合（☛P2-6）

Bフレッツ（ハイパーファミリータイプ／マンションタイプ光配線方式）〔NTT東日本〕に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。

1 回線終端装置と本商品を接続する

回線終端装置のLANポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

2 電話機を接続する

本商品のTELポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

3 パソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブルを使用して接続してください。

4 無線LANカードを取り付ける（無線LAN通信をする場合）

本商品のカードスロットに無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g）を取り付けます。

5 ACアダプタを接続する

ACアダプタを接続して本商品の電源を入れます。（「本商品の電源を入れる」（☛P2-8））

 お願い

- 無線LANカードを取り付けるときや取り外すときには、必ず本商品の電源を切ってから行ってください。
- 本商品と回線終端装置の間にルータを接続してご使用になることはできません。
- 本商品と電話機は、電話機コードで直接接続してください。お客様による分配、および延長アダプタ等を使用した接続をしないでください。

 ワンポイント

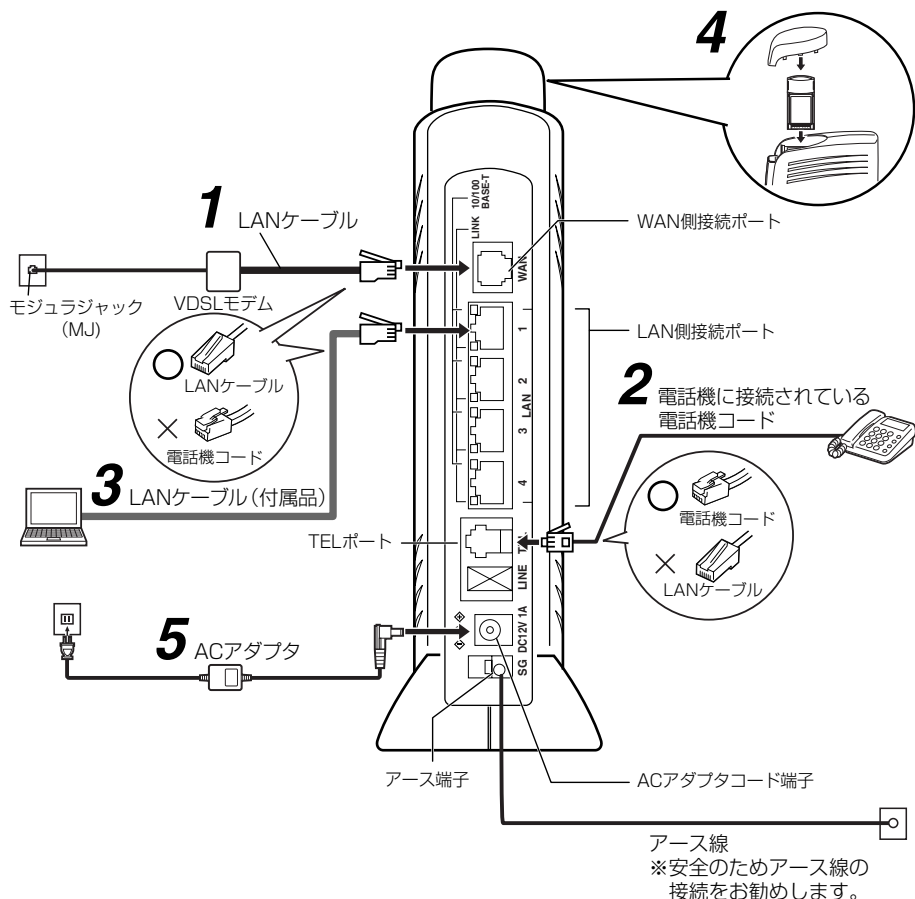
- ひかり電話の設定を変更せずに、ひかり電話のみをご利用の場合はパソコンを接続する必要はありません。

 お知らせ

- 無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやカードスロットが破損する可能性があります。

回線を接続する

Bフレッツ マンションタイプ VDSL方式に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。

1 VDSLモデムと本商品を接続する

VDSLモデムのLANポートと、本商品のWAN側接続ポートをLANケーブルで接続します。

※VDSLモデムの設定方法は各VDSLモデムの説明書を参照してください。

2 電話機を接続する

本商品のTELポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

3 パソコンを接続する

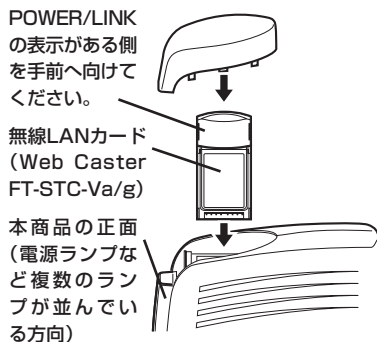
本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブルを使用して接続してください。

4 無線LANカードを取り付ける（無線LAN通信をする場合）

本商品のカードスロットに無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g）を取り付けます。

5 ACアダプタを接続する

ACアダプタを接続して本商品の電源を入れます。（「本商品の電源を入れる」(☛P2-8)）

お願い

- 無線LANカードを取り付けるときや取り外すときには、必ず本商品の電源を切ってから行ってください。
- 本商品とVDSLモデムの間にルータを接続してご使用になることはできません。
- 本商品と電話機は、電話機コードで直接接続してください。お客様による分配、および延長アダプタ等を使用した接続をしないでください。

ワンポイント

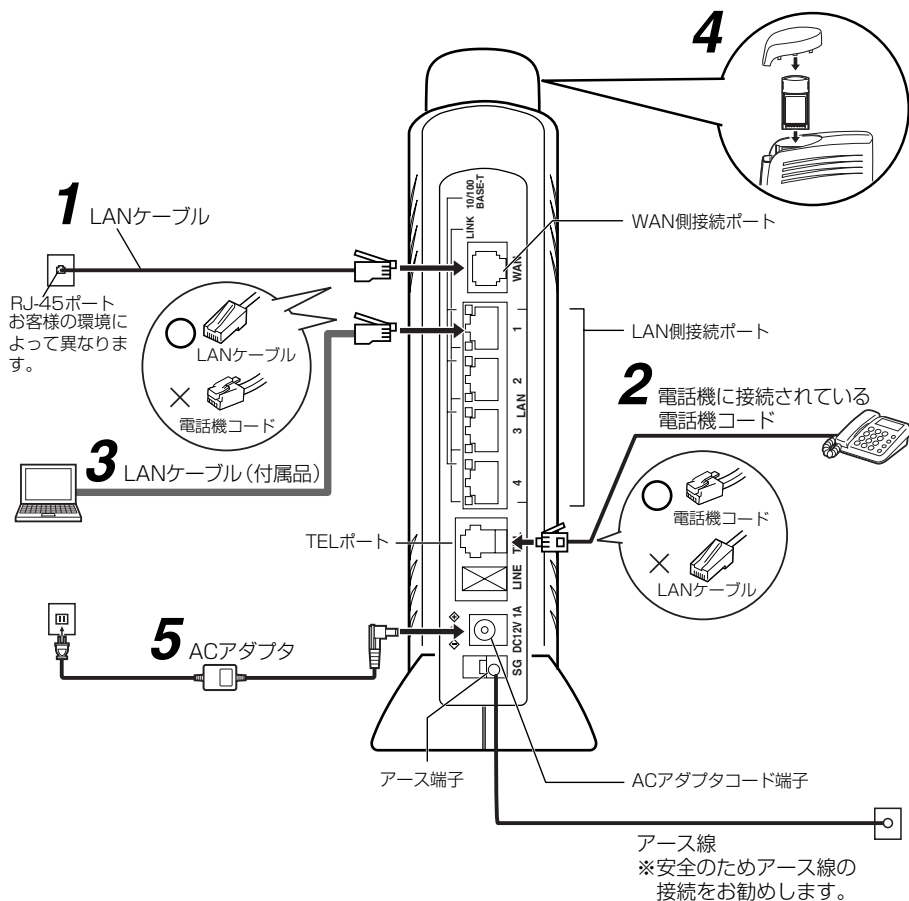
- ひかり電話の設定を変更せずに､ひかり電話のみをご利用の場合はパソコンを接続する必要はありません。

お知らせ

- 無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやカードスロットが破損する可能性があります。

回線を接続する

Bフレッツ マンションタイプ LAN配線方式に接続する

本商品は次のような構成で接続することができます。

1 お客様のお部屋にあるRJ-45ポートと本商品を接続する

お客様のお部屋にあるRJ-45ポートと本商品のWAN側接続ポートを、LANケーブルで接続します。

2 電話機を接続する

本商品のTELポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。

3 パソコンを接続する

本商品のLAN側接続ポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。
ストレートケーブルを使用して接続してください。

4 無線LANカードを取り付ける（無線LAN通信をする場合）

本商品のカードスロットに無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g）を取り付けます。

5 ACアダプタを接続する

ACアダプタを接続して本商品の電源を入れます。（「本商品の電源を入れる」（☛P2-8））

お願い

- 無線LANカードを取り付けるときや取り外すときには、必ず本商品の電源を切ってから行ってください。
- 本商品とRJ-45ポートの間にルータを接続してご使用になることはできません。
- 本商品と電話機は、電話機コードで直接接続してください。お客様による分配、および延長アダプタ等を使用した接続をしないでください。

ワンポイント

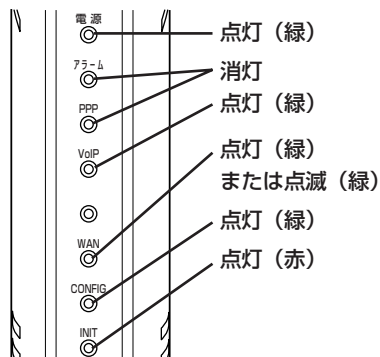
- ひかり電話の設定を変更せずに､ひかり電話のみをご利用の場合はパソコンを接続する必要はありません。

お知らせ

- 無線LANカードは正しい向きで取り付けてください。誤った方向で取り付けると無線LANカードやカードスロットが破損する可能性があります。

電源を入れる

本商品の電源を入れる

付属のACアダプタのケーブルを本商品のACアダプタコード端子に接続して、ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。本商品の電源が入ります。
電源を入れてしばらくたつと、ランプが右図の状態になります。

お願い

● 本商品の電源を入れたあと、正面の全ランプが点灯（WANランプは点灯または点滅）している場合は、最新のファームウェアへ更新を行っています。（5分程度かかります。）その場合は、絶対に電源を切らないでください。

お知らせ

● CONFIGランプが緑点灯しないときは「トラブルシューティング」の「設定に関するトラブル」（☛P8-9）を参照してください。
● 本商品の電源を切る場合は、先に電源プラグを電源コンセントから抜いてください。それから本商品側のコネクタを抜いてください。

⚠警告	● ACアダプタの接続は、必ず本商品側のコネクタを接続してから電源コンセントに差し込んでください。場合によっては、火災、感電、故障の原因となります。 ● 付属のACアダプタ以外のものを使用しないでください。また、付属のACアダプタおよびACアダプタコードを他の接続機器には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。 ● 近くに雷が発生したときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。火災、感電、故障の原因となることがあります。 ●万一、内部に水・異物などが入ったり、本商品やケーブル、モジュラジャックをぬらした場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のお問い合わせ先窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。 ● 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電機製品の電源プラグ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

パソコンの電源を入れる

本商品の電源を入れたあと、LAN側接続ポートに接続されているパソコンの電源を入れてください。その後、接続されているLAN側接続ポートにあるLINKランプが緑点灯することを確認してください。

ワンポイント

- ひかり電話のみご利用のときにはパソコンを接続する必要はありません。

3 ひかり電話を利用する

本商品に接続した電話機でひかり電話をご利用いただく方法を説明します。

電話をかけるには（発信）

電話をかける（発信）

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる

「ツー」という発信音が聞こえます。

2 電話番号を押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
PB ✳ 0 #

3 呼出音が聞こえる

4 相手の方が出たらお話しする

5 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く

ワンポイント

- 手順1で、「ツー」という音の代わりに「ピーピーピーピーツー」が聞こえる場合は、最新のファームウェアが公開されています。「バージョンアップ方法」（☛P7-6）を参照の上、バージョンアップを実施してください。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判定し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
- ひかり電話で接続できる番号については「ひかり電話で接続できる番号（☛P3-7）」を参照してください。

お知らせ

- 本商品に接続している電話機のACR（LCR）機能が動作している場合、ひかり電話が使用できない場合があります。必ず電話機のACR（LCR）機能は停止させてください。
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセット（受話器）を置いたままダイヤルする機能）を用いる等の操作方法によっては、ダイヤルするときに正しく発信できないことがあります。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセット（受話器）を2秒以上置いてから、「ツー」という音を確認したあとダイヤルしてください。

相手がお話し中のとき

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる

「ツー」という発信音が聞こえます。

2 電話番号を押す

3 「ツーツーツー」という音が聞こえる

4 ハンドセット（受話器）を置いて、しばらくたってからかけ直す

電話を受けるには（着信）

電話を受ける（着信）

1 着信音が鳴る

「プルルルー、プルルルー、…」という着信音が鳴ります。

2 ハンドセット（受話器）を取りあげて、相手の方とお話しする

3 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く

ひかり電話の付加サービスを利用するには

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンの契約が必要になります。

●ひかり電話でお話し中に、別の相手先から電話がかかってきたとき

1 お話し中に「プップッ・・・・」という着信音が聞こえる

2 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は保留されます。

3 あとからかけてきた方とお話しする

最初に話していた方には保留音が流れます。

4 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く

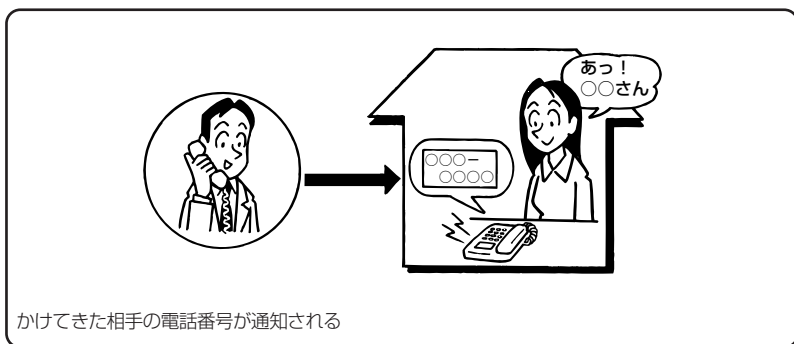
着信音が鳴ります。ハンドセット（受話器）を取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。
※フッキングでも切り替えができます。

ワンポイント

●「フッキング」とは、電話機のフックスイッチ（図の矢印部分）を軽く（1秒程度）押すことです。1秒以上押し続けると、通話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、専用のボタン（キャッチホンボタン、フックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。

かけてきた相手の電話番号が通知される

● 必要な契約

ナンバー・ディスプレイの契約が必要になります。

● 必要な設定

①TELポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
②接続した電話機のナンバー・ディスプレイ発信者番号通知設定を行います。

お知らせ

- 電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

ひかり電話の付加サービスを利用するには

発信者番号通知

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号）を通知する機能です。

発信者番号を通知するかどうかは以下のような条件になります。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

● ひかり電話ご契約時の内容

ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

契約	ダイヤル操作		
	相手番号（通常の操作）	184+相手番号	186+相手番号
通常通知 （通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知 （回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

ひかり電話で接続できる番号

接続できる電話サービス

・NTT東日本／西日本の加入電話およびISDN
・国際電話（世界約200の国と地域）
・携帯電話、PHS
・IP電話サービス（050IP電話サービス）
・他社の提供する0AB～J電話サービス

接続可否番号一覧

電話番号	サービス名等	接続可否
0120	フリーアクセス/フリーダイヤル等	○
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレゴング／テレドーム／データドーム	×
0190	エンジェルライン／あんないジョーズ	×
0570	ナビアクセス／APナビ／ナビダイヤル	×
0800	フリーアクセス/フリーダイヤル等	○
0910	公専接続	×
0990	ダイヤルQ2	×
010	国際通話	○
020	ポケベル	×
050	IP電話	○
060	UPT（eコール）	×
070	PHS	○
080	携帯電話	○
090	携帯電話	○
100	100番通話	×
104	番号案内	○
106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）	×
108	自動コレクトコール	×
110	警察（緊急通報）	○
113	故障受付	○
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116	営業受付	○
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
121	クレジット通話サービス	×

電話番号	サービス名等	接続可否
134	ダイヤルQ2パスワード	×
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバーアナウンス・ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん、二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	○
144	迷惑電話おことわりサービス	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープ	○
148	ナンバーリクエスト	○
149	DDX－TP	×
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
163	DDX－TP	×
164	DDX－TP	×
165	メール送受信	×
166	ビデオテックス接続	×
167	DDX－TP	×
169	DDX－TP	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
178	オフトーク	×
184	発信者番号通知拒否	○
186	発信者番号通知	○

●ひかり電話から以下への発信はできません。

シャープダイヤル（♯＋4桁の番号）	
00△△発信（電気通信事業者を指定した発信）	0036～、0039～など
NTTドコモの衛星船舶	090-302-20XXX～41XXX、43XXX～47XXX、57XXX～63XXX、66XXX～67XXX

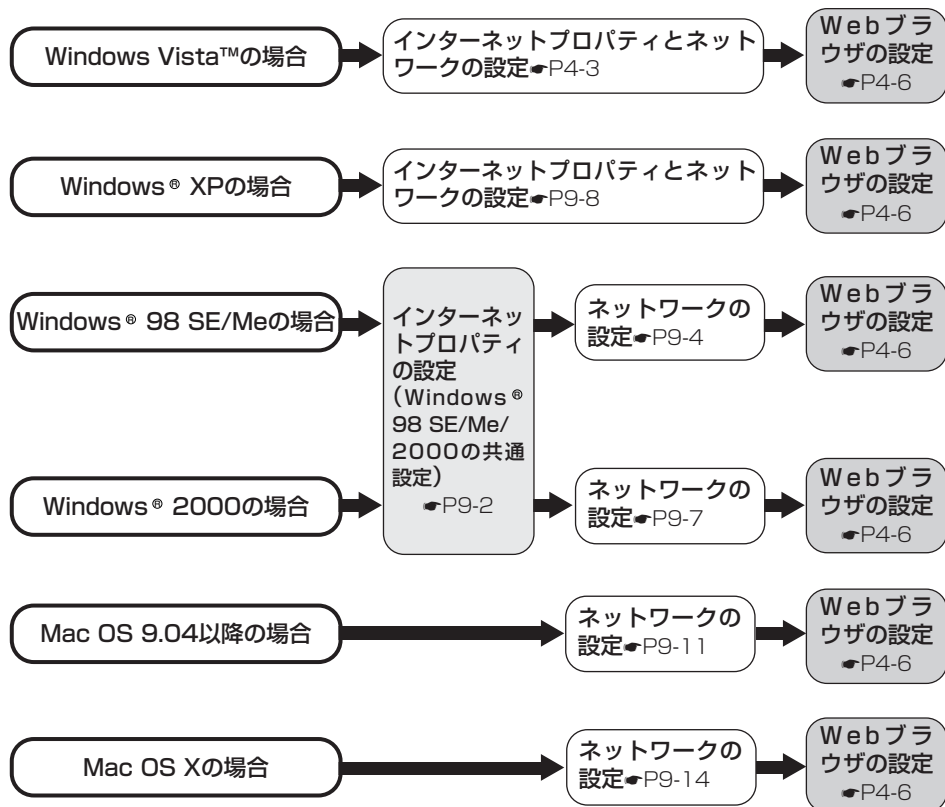
●通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

（2007年3月現在）

4 パソコンを設定する

本商品に接続したあとはパソコンの設定が必要です。ここでは設定の手順について説明します。

設定の流れ

本商品を接続してパソコンの設定を行うまでの基本的な流れを示します。
お使いのOSが該当するページをご参照ください。
本商品の推奨OSおよびWebブラウザは以下の通りです。
OS：Windows® 98 SE、Windows® Me、Windows® 2000、
　　Windows® XP、Windows Vista™（日本語版）
　　Mac OS 9.04以降、Mac OS X
Webブラウザ：Windows　：Internet Explorer 5.5（サービスパック2）、
　　　　　　　　　　　Internet Explorer 6、Internet Explorer 7
　　　　　　Mac OS 9.04以降：Internet Explorer 5.1.6以上
　　　　　　Mac OS X：Internet Explorer 5.2.2以上
※上記以外のOSおよびWebブラウザでの動作は保証いたしません。（2007年7月現在の情報です。）

お知らせ

● 本商品をご使用になる場合は、フレッツ接続ツール（PPPoE）をインストールする必要はありません。

パソコンを設定する（Windows Vista™の場合）

下記の手順に従って、パソコンを設定します。
本書ではWindows Vista™の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンの画面設定によっては表示が異なる場合があります。

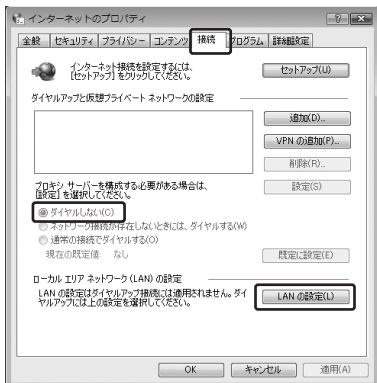
インターネットプロパティとネットワークの設定

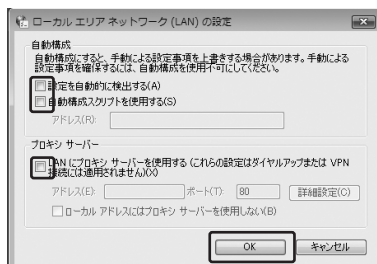
これまでインターネットに接続していた場合は、インターネットプロパティの内容を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer 7です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザのヘルプを参照してください。

1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします

3 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択します

※ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。

4 「LANの設定」をクリックします

5 「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」、「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します

6 「OK」をクリックします

7 「OK」をクリックします

お知らせ

●Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。
（「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご参照ください。）

（次ページに続く）

パソコンを設定する（Windows Vista™の場合）

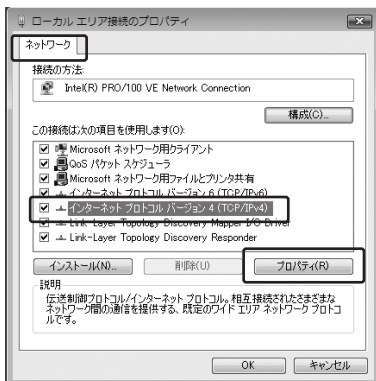
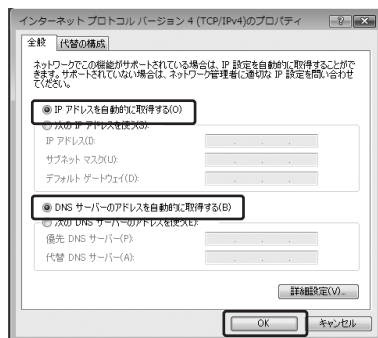
8 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックして、「ネットワークと共有センター」の画面左に表示される「ネットワーク接続の管理」をクリックします

9 「ブロードバンド」の欄に、設定がされている場合は、表示されているアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」をクリックしてください

10 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします

※「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

11 「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)」を選択して、「プロパティ」をクリックします

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

12 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックします

13 「OK」をクリックします

14 「OK」または「閉じる」をクリックします

ネットワークの設定を確認する

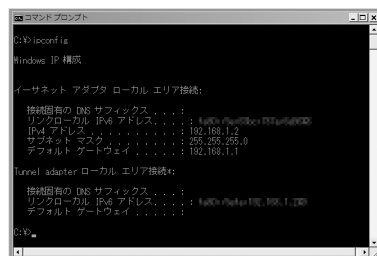
パソコン(LAN カード) と本商品が正しく接続･設定されているか確認したい場合、Windows Vista™ ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします

2 ipconfig コマンドを実行します

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し、「Enter」キーを押します。
ipconfig コマンドを実行すると、

- IP Address（IPv4アドレス）
- Subnet Mask（サブネットマスク）
- Default Gateway（デフォルトゲートウェイ）

などの情報が表示されます。パソコンに各種情報が正しく設定されていることを確認してください。
IP アドレスは192.168.1.2 ～ 192.168.1.11 の範囲のいずれかが設定されます。（初期設定状態の場合）

ワンポイント

●IPアドレスとデフォルトゲートウェイが正しく設定されていない場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。

●各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください

Webブラウザの設定

本商品は、各種の設定、データ変更、状態確認などをWebブラウザで実施します。
Webブラウザを使用するための設定について説明します。

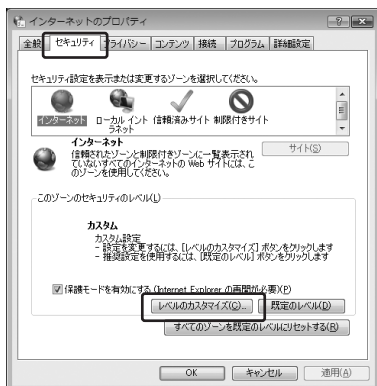
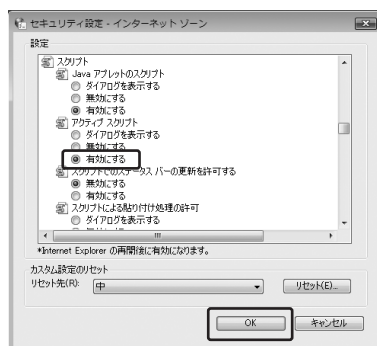
●Windows® をご利用の場合

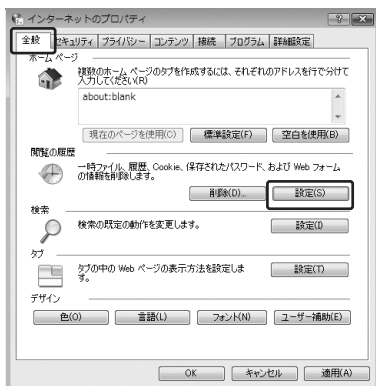
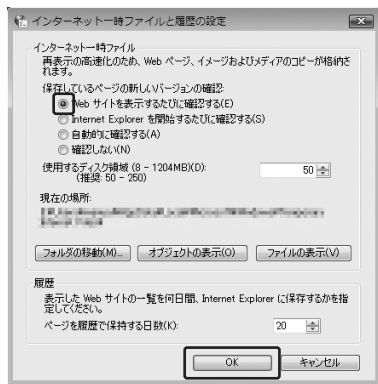
Internet Explorer 5.5（サービスパック2）、Internet Explorer 6またはInternet Explorer 7がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合には、雑誌の付録などのCD-ROMからインストールを行ってください。また、お客様にインターネット環境が既にある場合は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードすることも可能です。
JavaScript機能の設定、キャッシュ機能の設定を確認してください。以下はInternet Explorer 7のイメージで説明していますが、Internet Explorer 5.5（サービスパック2）、Internet Explorer 6の場合も同様の手順で実施することができます。

Webブラウザの設定を確認する

1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします

3 「セキュリティ」のタブを選択し、「レベルのカスタマイズ」をクリックします

4 スクリプト項目のアクティブスクリプトの「有効にする」をチェックします

5 「OK」をクリックします

6 「全般」のタブをクリックし、「閲覧の履歴」項目（または「インターネット一時ファイル」）にある「設定」をクリックします

7 「Webサイトを表示するたびに確認する」（または「ページを表示するごとに確認する」）をチェックします

8 「OK」をクリックします

9 「OK」をクリックします

●Mac OS をご利用の場合

Internet Explorer 5.1.6 以上（OS X は5.2.2 以上）がインストールされていることを確認してください。

お知らせ

- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ウィザードを終了してください。「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご覧ください。
- ブラウザの「戻る」、「進む」は使用しないでください。「戻る」、「進む」を使用した場合の動作は保証しません。

Webブラウザによる設定について

本商品のデータ変更や状態確認はWebブラウザにて実施します。本商品の設定画面は、「5章 インターネットに接続する」の「かんたん設定」(☛P5-2)の手順1～8を実施することによりWebブラウザに表示されます。

お知らせ

- パソコンのOSがWindows® 2000/Windows® XP/Windows Vista™のお客様は「まるごと設定ツール」をご利用ください。(別冊 「最初にお読みください」参照。「まるごと設定ツール」をご利用になれないお客様は「5章 インターネットに接続する」をご覧ください。)
- 「まるごと設定ツール」を利用して本商品のセットアップを行ったお客様は、デスクトップにある「WBC V110M Webブラウザ設定のショートカット」のアイコンをダブルクリックして、ログイン画面でユーザ名「admin」とまるごと設定ツールで設定したWeb設定ログインパスワードを入力すると、本商品の設定画面を表示させることができます。

Web画面の各部の名称

③「確認」ボタン
入力した内容を確認します。入力した内容が不正なときはポップアップメッセージが表示されます。正しい内容を再入力し、もう一度「確認」をクリックしてください。

④「送信」ボタン
入力した内容を本商品へ送信します。
「確認」をクリックし、正しい内容が入力されている場合に「送信」は有効になります。

⑤「反映」ボタン
再起動を実施しWebブラウザで入力した内容で運用を始めます。

①メインメニュー画面
メインメニューの該当する項目をクリックします。「設定画面」を表示します。(サブメニューがあるものはサブメニューが表示されますので該当する項目をクリックします。)

②設定画面
設定内容や状態を表示します。入力はこの画面で行います。

⑥「ヘルプ」ボタン
設定内容や状態について、詳しい説明は「ヘルプ」をクリックしてください。

設定したデータで運用するには

Webブラウザ上での設定操作は、以下の手順にて行います。

1 各設定画面で設定項目の入力をします

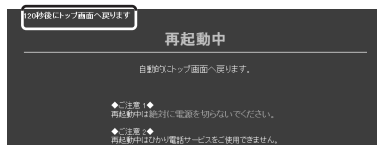
2 「確認」をクリックします

3 「送信」をクリックします

4 他に設定するものがあれば、画面左のメニュー項目から選択し、1～3を繰り返します

5 「反映」をクリックします

6 「OK」をクリックします

7 残りの待ち時間を表示します。しばらくお待ち願います

8 設定したデータを反映後、「かんたん設定」画面に戻ります

お願い

● 再起動中は、電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

Webブラウザによる設定について

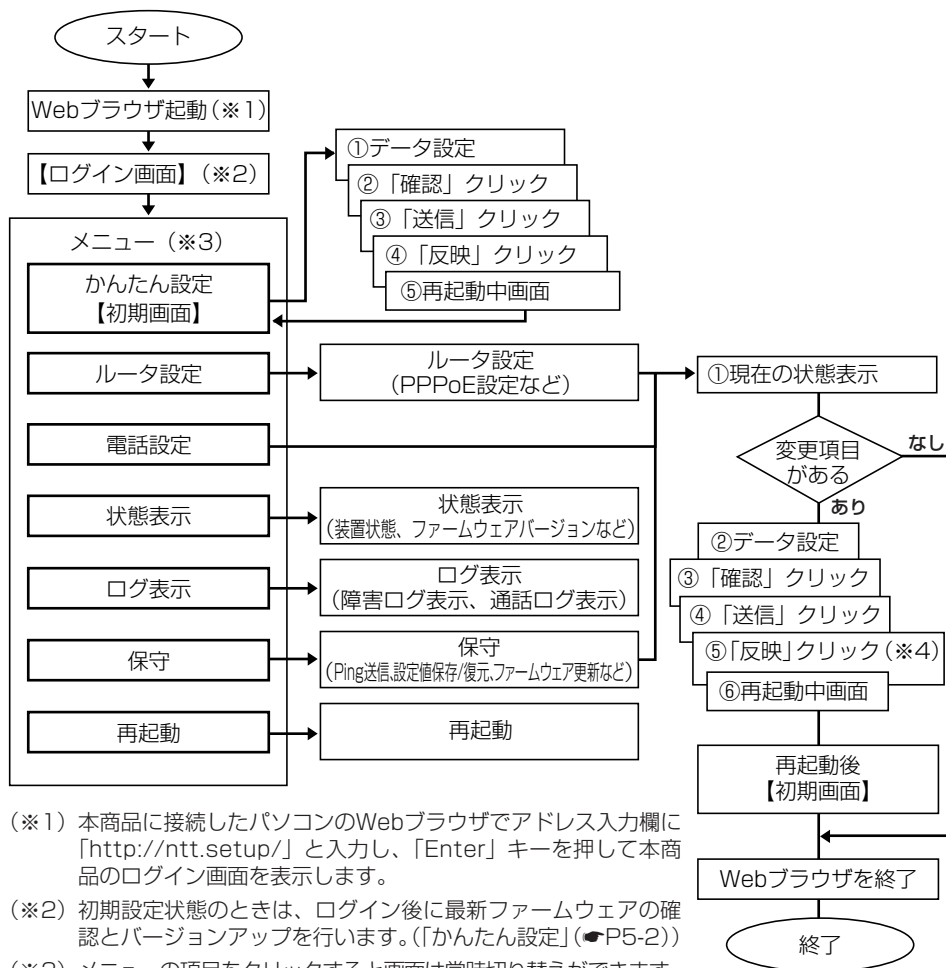
操作の流れ

操作の基本的な流れを示します。

（※1）本商品に接続したパソコンのWebブラウザでアドレス入力欄に「http://ntt.setup/」と入力し、「Enter」キーを押して本商品のログイン画面を表示します。

（※2）初期設定状態のときは、ログイン後に最新ファームウェアの確認とバージョンアップを行います。（「かんたん設定」（☛P5-2））

（※3）メニューの項目をクリックすると画面は常時切り替えができます。

（※4）すべてのデータを設定後に実施します。（サブメニュー単位に実施する必要はありません。「確認」「送信」クリックはサブメニュー単位に実施してください。）再起動後、設定したデータが反映されます。

パスワード設定

Web設定ログインパスワードを変更することができます。

1 メニューから「保守」をクリックし、サブメニューから「パスワード設定」をクリックします

2 パスワード設定画面が表示されます

①現在のパスワード

現在使用しているパスワードを入力します。

②新しいパスワード

新しいパスワードを入力します。
設定範囲：1～10文字以内。半角英数字およびASCIIコードの記号（ただし、記号「"」「；」スペースを除く）

※ ASCIIコードの詳細については、「ASCIIコード表」（☛P9-23）を参照してください。

③新しいパスワード確認

確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。

3 「確認」をクリックします

4 「送信」をクリックします

※内容が不正な場合は「送信」が有効になりません。手順2に戻り正しい値を再度入力し「確認」をクリックします。

5

①ユーザ名

「admin」を入力します。

②パスワード

手順2-②で入力した新しいパスワードを入力します。

6 「OK」をクリックします

7 「反映」をクリックします

8 再起動終了後、設定した内容が有効になります

お知らせ

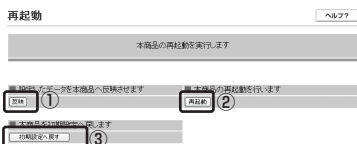
● 「反映」をクリックせずに再起動した場合、新しいパスワードが本商品に反映されませんのでご注意ください。

Webブラウザによる設定について

再起動

本商品の再起動を行うことができます。設定を変更したあと、装置に反映させる場合に利用します。
また、本商品を初期設定に戻す場合に利用します。

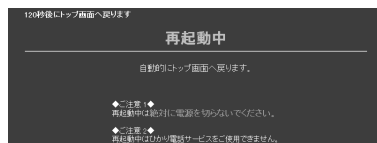
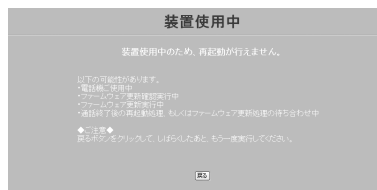
1 メニューから「再起動」をクリックします

2 再起動画面が表示されます

①反映
Webブラウザで設定したデータを本商品へ反映し、再起動を行います。

②再起動
再起動を行います。

③初期設定へ戻す
本商品の設定を初期設定に戻し再起動を行います。

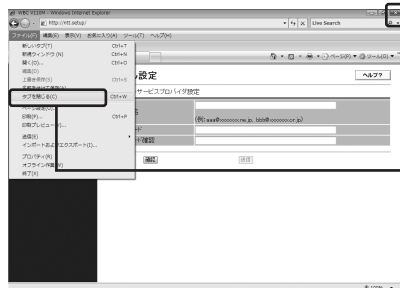
※お客様が設定したデータはすべて失われます。
「セットアップする」（☛P1-7）をお読みになり、もう一度設定し直してください。

3

※通話中にボタンをクリックした場合、操作は無効になります。以下の画面を表示しますので「戻る」をクリックし、通話終了後もう一度実行してください。

4 再起動終了後、「かんたん設定」画面に戻ります

※手順2で「初期設定へ戻す」を選択した場合には、「初期設定」画面が表示されます。（「Webブラウザによる初期化」（☛P9-18））

お願い

●再起動中は、電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

Webブラウザによる設定の終了

※Webブラウザの右上のXボタンをクリックして終了することもできます。複数の画面をタブブラウザでご使用の場合は、「WBC V110M」のタブのXボタンをクリックしてください。

Webブラウザの[ファイル]-[タブを閉じる]を選択し、クリックしてWebブラウザ設定画面を終了します

お知らせ

● 「反映」をクリックせずに、Webブラウザを閉じた場合、設定内容が本商品に反映されませんのでご注意ください。

5 インターネットに接続する

本商品と接続したパソコンからインターネットをご利用するためには、本商品に設定が必要です。ここでは設定の手順について説明します。

かんたん設定

Webブラウザで基本的な設定をします。

ワンポイント

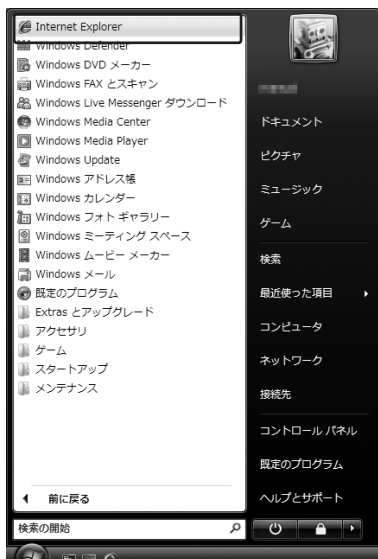
● ひかり電話開通日以前から本商品にてインターネット接続を行った場合は、ひかり電話開通日を過ぎてもひかり電話がご利用いただけません。その場合には、本商品の電源を入れ直すことでご利用可能となります。また、ひかり電話の契約内容を変更された場合においても、新契約での利用開始日に必ず電源を入れ直してください。

● 本商品に設定を行って、インターネットやひかり電話をご利用ください。

（1）「フレッツ接続ツール」を利用されていたお客様
いままでお使いの「フレッツ接続ツール」はアンインストールしてください。本商品にプロバイダから通知された情報による設定を行っていただくと、接続は本商品が行います。

（2）ISDN-TA、またはブロードバンドルータを利用されていたお客様
プロバイダから通知された設定情報（Bフレッツ対応）を本商品に設定してください。インターネット接続とひかり電話の両方をご利用できるようになります。本商品をご利用になることで、いままでお使いのISDN-TAやブロードバンドルータは不要になります。

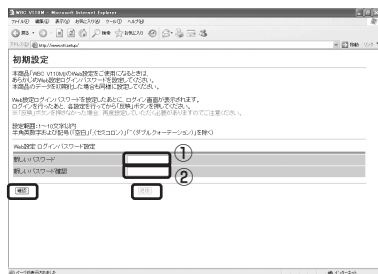
（3）無線LANをご利用の場合、現在までご利用の無線LANカードドライバのアンインストールを実施してください。無線LANカードドライバのアンインストールは、各製品の取扱説明書を参照してください。

1 本商品に接続したパソコンでInternet Explorerを起動します

※「Internet Explorer」アイコンがデスクトップ上にない場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「IExplore」と入力して「OK」をクリックしてください。

2 「アドレス」欄に「http://ntt.setup/」と入力し、「Enter」キーを押します

※半角文字で入力してください。

3 「初期設定」画面が表示されます

※2回目以降はこの画面は表示しません。

①新しいパスワード

本商品にログインするためのWeb設定ログインパスワードを入力します。
半角英数字およびASCIIコードの記号（ただし、「”」「；」スペースを除く）を含む1文字以上10文字以内

●Web設定ログインパスワードはメモしておくことをお勧めします。

Web設定ログインパスワード：

____

※ASCIIコードの詳細については「ASCIIコード表」（☛P9-23）を参照してください。

②新しいパスワード確認

同じパスワードを入力します。

4 「確認」をクリックします

5 「送信」をクリックします

6 「OK」をクリックします

7

①ユーザ名

「admin」を入力します。

②パスワード

手順3で設定したWeb設定ログインパスワードを入力します。

8 「OK」をクリックします

5 インターネットに接続する

（次ページに続く）

かんたん設定

9 「初期情報設定」画面が表示されます

●ひかり電話とインターネットをご利用になる場合

①接続ユーザ名
プロバイダから指定された接続ユーザ名（※）を入力してください。

②接続パスワード
プロバイダから指定された接続パスワード(※）を入力します。画面上では「●」で表示されます。

③接続パスワード確認
同じパスワードを入力します
※ プロバイダによって接続ユーザ名、接続パスワードの呼び方が異なります。

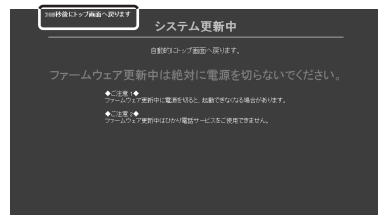
●ひかり電話のみご利用になる場合

10 ●ひかり電話とインターネットをご利用になる場合
「確認」をクリックします
●ひかり電話のみご利用になる場合
「こちら」をクリックします

11 ●ひかり電話とインターネットをご利用になる場合
「送信」をクリックします
●ひかり電話のみご利用になる場合
「ＯＫ」をクリックします

12 「OK」をクリックします

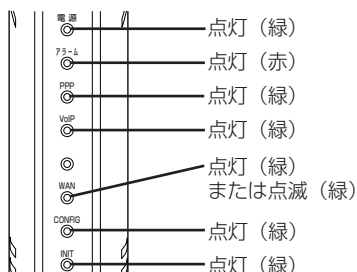
13 ファームウェアが最新のものか確認しています

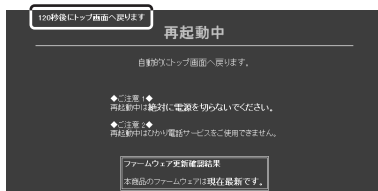
●更新するファームウェアがある場合
最新のファームウェアにバージョンアップします。
残りの待ち時間を表示します。しばらくお待ち願います。

お願い

●「初期情報設定」画面が表示されない場合には、本商品のランプ表示をご確認の上、「トラブルシューティング」（☛P8-7～ 8-9）を参照して対処してください。
● ファームウェア更新確認中に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。
● バージョンアップ中に電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

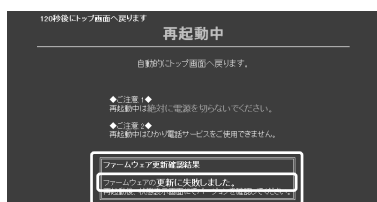
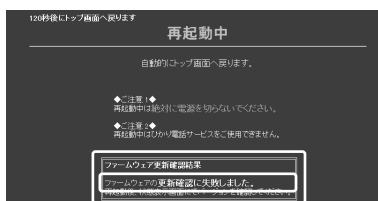
ワンポイント

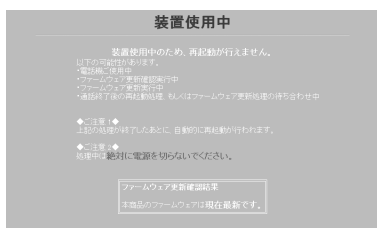
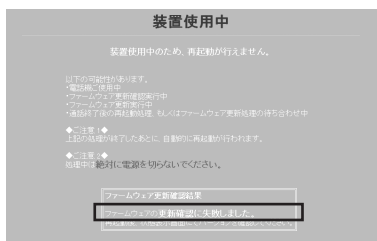
●「初期情報設定」画面でインターネットサービスプロバイダ設定を行わなかった場合、「かんたん設定」画面（☛P5-6）にてインターネットサービスプロバイダ設定を行うことができます。

システム更新中は本商品のランプ表示が以下のようになることを確認してください。

●更新するファームウェアがない場合

残りの待ち時間を表示します。しばらくお待ち願います。

●エラーメッセージが表示された場合

（1）ファームウェア更新処理に失敗した場合

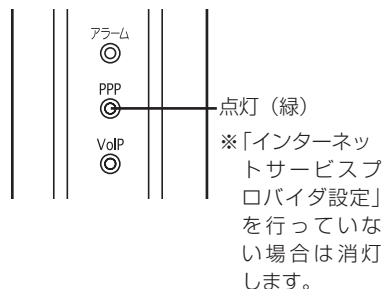
更新確認または更新に失敗して、以下のような画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって再起動後に「状態表示画面」にてバージョンを確認してください。（「バージョンアップ方法」（☛P7-11））

（2）装置使用中の場合

通話中などの装置使用中のときは、以下のような画面表示になり、装置使用中の処理が終了後に自動的に再起動が行われます。

画面の下部に「ファームウェアの更新確認に失敗しました」、または「ファームウェアの更新に失敗しました」と表示されている場合は、画面の指示にしたがって再起動後に「状態表示画面」にてバージョンを確認してください。（「バージョンアップ方法」（☛P7-11））

（次ページに続く）

かんたん設定

14 再起動が終了すると「かんたん設定」が表示されます

（※）「インターネットサービスプロバイダ設定」を行った場合は、PPPランプが緑点灯していることを確認してください。

※「インターネットサービスプロバイダ設定」を行っていない場合は消灯します。

お知らせ

- プロバイダからDNSサーバアドレスを指定されている場合は「かんたん設定」を行ったあと、「PPPoE設定」画面で「DNSサーバアドレス」を設定してください。（詳細取扱説明書「設定項目説明－PPPoE設定」）
- 「PPPoE設定」画面の「接続先設定」で、「接続先1」以外が「セッション1」に設定されていた場合、「かんたん設定」を行うと、「セッション1」は「接続先1」が選択されます。また、「セッション２」に設定されていた内容は「接続しない」に選択が変更されます。
- 既に、「接続先１」に入力された内容がある場合、後から「かんたん設定」を実施することによって、「接続先１」の内容は「かんたん設定」で設定した内容に上書きされます。

インターネット接続の確認

かんたん設定後、インターネット接続ができるかどうか確認します。

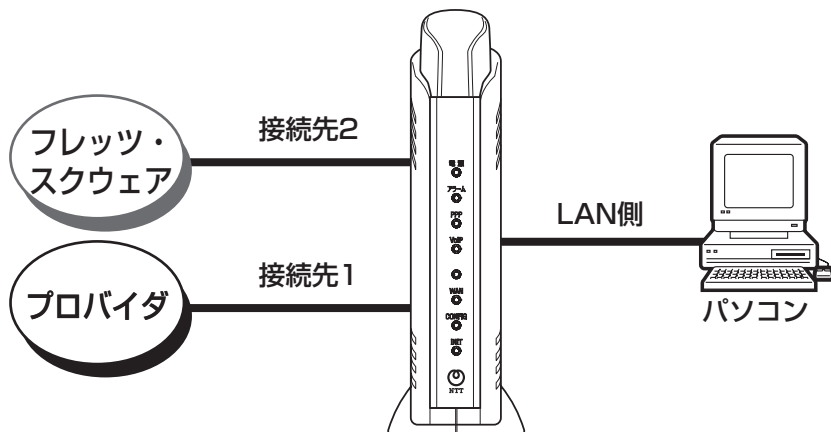
1 本商品に接続したパソコンでInternet Explorerを起動し、「アドレス」欄に「http://www.ntt.co.jp/」とURLを入力して「Enter」キーを押します

2 ホームページが表示されます

お知らせ

● Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。(「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプをご参照ください。)

フレッツ・スクウェアへの接続

ここでは以下のような構成例に従いセッション2で当社提供サービスのフレッツ・スクウェアをご利用になる場合の設定について説明します。セッション1（接続先1情報）はお客様が契約されているプロバイダに接続されていることを前提とします。

●設定方法

1 メニューから「ルータ設定」－「PPPoE設定」をクリックします

2 「セッション2」の接続先を選択します

この場合は「接続先2」を選択しています。

3 「接続先2」にフレッツ・スクウェアへの接続情報を入力します

各項目の入力値については以下をご覧ください。

●NTT東日本ご利用の方

①接続ユーザ名：guest@flets
②接続パスワード：guest
③接続パスワード確認：guest
④接続モード：要求時接続
　自動切断までの時間：1800（秒）

●NTT西日本ご利用の方

①接続ユーザ名：flets@flets
②接続パスワード：flets
③接続パスワード確認：flets
④接続モード：要求時接続
　自動切断までの時間：1800（秒）

4 「確認」をクリックします

5 「送信」をクリックします

6 「ルーティング条件」をクリックします

接続先設定

	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続しない
セッション1	⊙	○	○	○	○	○
セッション2 ルーティング条件	○	⊙	○	○	○	○

7 「ルーティング条件」の画面が表示されます

①追加するドメイン名
「flets」と入力します。

②「追加」をクリックします

③「ドメイン名」
一覧に「flets」が追加されていることを確認します。

8 「確認」をクリックします

9 「送信」をクリックします

10 「反映」をクリックします

再起動後「かんたん設定」画面を表示します。設定した内容が有効になります。

11 「メニュー」から「状態表示」をクリックします

12 「セッション1」の状態が「正常」、「セッション2」の状態が「未使用」と表示されているかどうか確認します

パソコンからフレッツ・スクウェアへ接続すると、「セッション2」の状態は「正常」を表示します。

PPPoE状態(セッション1)	正常
PPPoE状態(セッション2)	未使用

13 本商品の「PPPランプ」の確認をします

橙色のランプが点灯していればマルチセッションで接続されています。

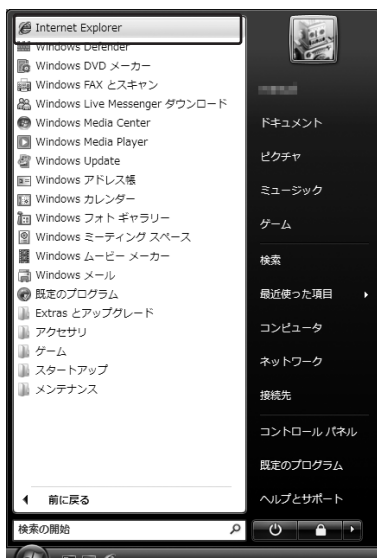
これで設定は終了しました

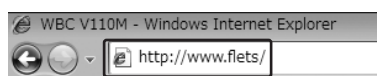
ワンポイント

- 「追加するドメイン名」の「変更」「削除」については（詳細取扱説明書「パソコンのアドレスを固定にするには（DHCPサーバ機能）」）の「変更」「削除」方法を参考に行ってください。

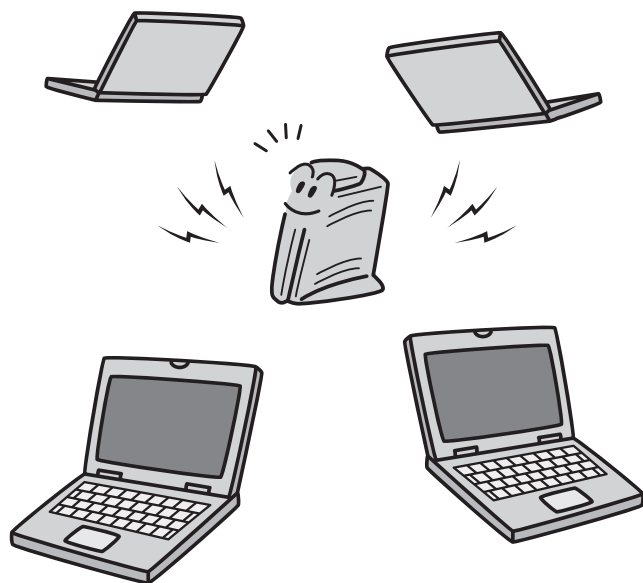
フレッツ・スクウェアへの接続

●利用方法

1 本商品に接続したパソコンでInternet Explorerを起動します

2 「http://www.flets/」と入力し、「Enter」キーを押します

フレッツ・スクウェアへ接続します。

フレッツ・スクウェアによるサービスをお楽しみください。

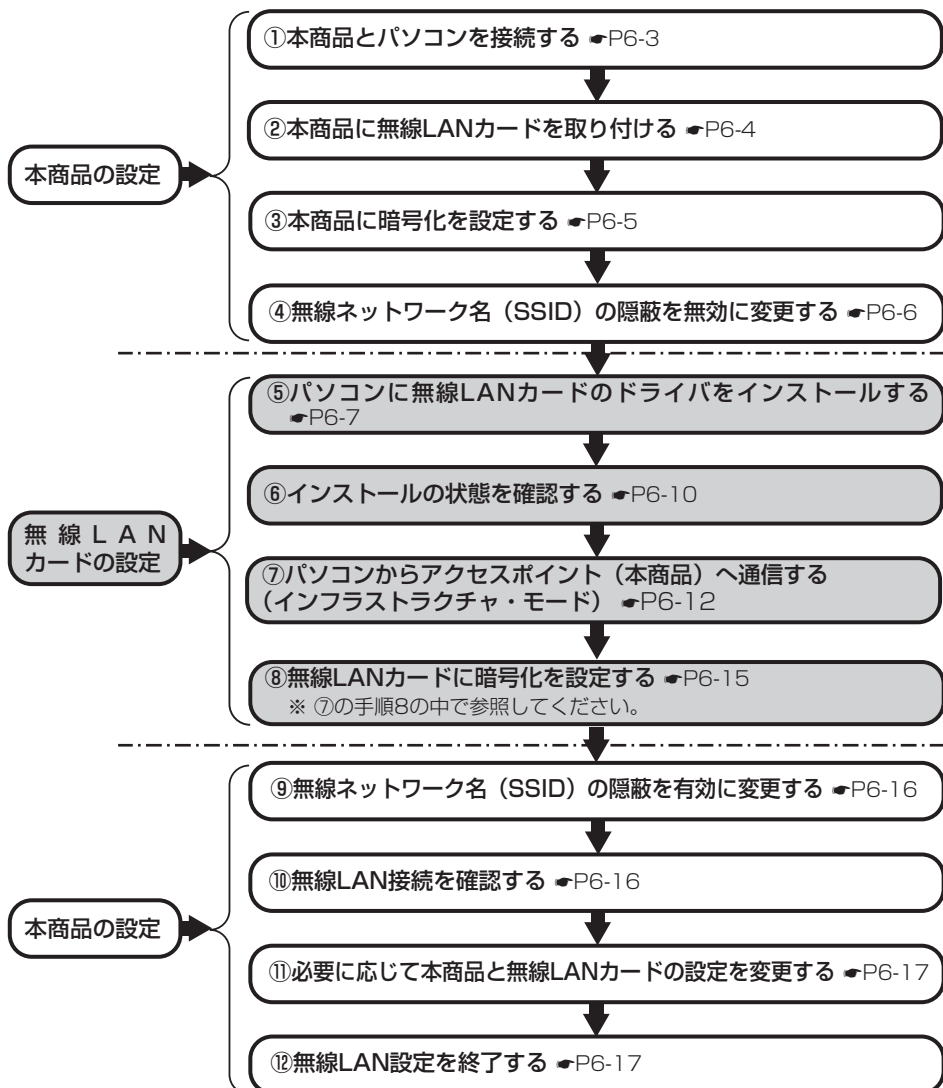
6 無線LANを利用する

本商品を無線LANアクセスポイントとして利用する場合の設定について説明します。

LANケーブルを使用した設定

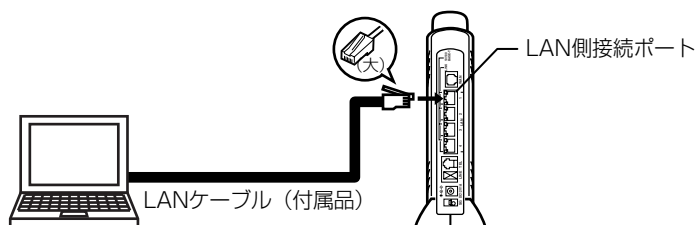
本商品を無線LANアクセスポイントとして利用する場合の設定について説明します。本商品の無線LAN機能を使用するには、専用の無線LANカード（Web Caster FT-STC-Va/g無線LANカード（以下、「無線LANカード」といいます））が必要となります。

※本書ではパソコンのOS にWindows Vista™を使用した場合を前提に説明しています。他のOSをご使用になる時は無線LANカードの詳細取扱説明書を参照してください。

※無線LANカードのドライバ・ユーティリティは変更される場合があります。そのときはホームページからドライバ・ユーティリティおよび設定マニュアルを入手してください。

※以下に示した手順の流れは、パソコンと本商品をLANケーブルで接続して本商品と無線LANカードを設定する基本的な方法になります。

本商品とパソコンの設定

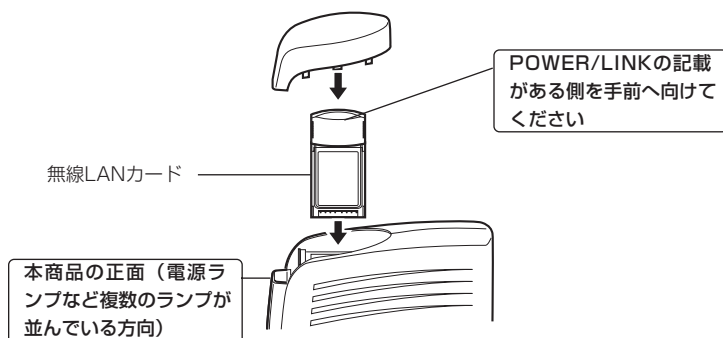
①本商品とパソコンを接続する

パソコンのLANポートと本商品背面のLAN側接続ポートを本商品付属のLANケーブルで接続してください。

●本商品に接続するパソコンはCD-ROMドライブを内蔵しているものをご使用ください。（お使いのパソコンがCD-ROMドライブを内蔵していない場合は、CD-ROMドライブもご用意ください。）
また、本商品に接続するパソコンが以下の条件を満たすものであることをご確認ください。

カード スロット	インタフェース	PC Card Standard（CardBus）・TypeⅡ
	使用電源	DC3.3V±5%（パソコンから供給） DC5V 仕様のカードスロットではお使いになれません。
OS		Windows® 98SE／Windows® Me／Windows® 2000 professional／ Windows® XP/Windows Vista™（日本語版） ※Mac OSはご利用になれません。

本商品とパソコンの設定

②本商品に無線LANカードを取り付ける

まず、本商品の電源を切ってください。
本商品のカードスロットに無線LAN カードを取り付け、本商品の電源を入れてください。

お願い

- ●本商品の電源を入れたあと、正面の全ランプが点灯（WANランプは点灯または点滅）している場合は、最新のファームウェアへ更新を行っています。（5分程度かかります。）その場合は、絶対に電源を切らないでください。
- ● 本商品から無線LANカードを外すときには、必ず本商品の電源を切ってから外してください。
- ● 本商品は無線LANカード『Web Caster FT-STC-Va/g』を使用した無線LAN接続のみ動作保証いたします。その他の無線LAN製品、パソコン内蔵の無線LANカード等との接続は保証いたしませんのでご注意ください。

お知らせ

- ●無線LANカードは正しい向きで挿入してください。誤った方向で挿入すると本商品や無線LANカードが破損する可能性があります。
- ●無線LANカードを取り付けたあと、本商品の電源を入れてから6分〜10分の間はインターネットがご利用になれない場合があります。

③本商品に暗号化を設定する

アクセスポイント（本商品）に暗号化の設定を行います。
無線LAN通信は、無線を利用しているために、ケーブルの配線工事が不要というメリットがあります。ただし、通信内容の暗号化をしていない場合には、電波の届く範囲であれば通信内容を傍受される危険性が考えられます。
そのため、専用の無線LANカードをお使いになるときには必ず暗号化（WEP/WPA）の設定を行ってください。なお、専用の無線LANカードでサポートしているWPAの暗号化プロトコルはTKIPのみとなります。
※暗号化に関する説明は、「詳細取扱説明書」を参照してください。

アクセスポイント（本商品）の暗号化設定

1 Webブラウザで本商品にログインし、画面左メニューから「ルータ設定」－「無線LAN設定」－「暗号化設定」をクリックしてください

2 暗号化方式を選択し、必要な項目を設定します

右記画面が表示されるので、暗号化設定を実施してください。
以下では、暗号方式に「TKIP＋PSK」を選択し、「PSK（事前共有キー）」に「abcdefgh」、キー更新間隔（暗号化キーの更新周期）を「10分」に設定した場合の例を示します。
設定した「PSK（事前共有キー）」はお手元に記録しておいてください。
事前共有キーの設定範囲：8～63文字以内。半角英数字およびASCIIコードの記号（ただし、記号「”」「；」スペースを除く）
※ASCIIコードの詳細については、「ASCIIコード表」（☛P9-23）を参照してください。

※設定項目の詳細については、詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－暗号化設定」を参照してください。

3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し、「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4 「送信」をクリックします

5 「反映」をクリックします

再起動終了後、設定した内容が有効になります。

お知らせ

●設定を変更する場合は無線LANカードを装着したパソコンの設定も変更してください。変更しないと通信できなくなります。（設定方法は無線LANカードの取扱説明書または詳細取扱説明書を参照してください。）

本商品とパソコンの設定

④無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を無効に変更する

ここでは、一時的に無線LAN カードからの無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）を無効に設定します。

1 Webブラウザで本商品にログインし、メニューの「ルータ設定」－「無線LAN設定」－「基本設定」をクリックしてください

2 無線ネットワーク名（SSID）（ここでは「V110M-0123AD」となっています）をお手元に記録し、「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）」をいったん「無効」に設定します

基本設定　ヘルプ?

無線動作モード	11b+g
無線ネットワーク名(SSID)	V110M-0123AD
無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)	無効
送信パワー設定	100 %
無線チャンネル	
11b+g/11g	13 チャンネル
11a	46 チャンネル
速度設定	
11b+g	auto Mbps
11g	auto Mbps
11a	auto Mbps

確認　送信

※設定項目の詳細については、詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－基本設定」を参照してください。

3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4 「送信」をクリックします

5 「反映」をクリックします

再起動終了後、設定した内容が有効になります。

お知らせ

- 無線ネットワーク名（SSID）の設定を変更する場合は無線LANカードを装着したパソコンの設定も変更してください。変更しないと通信できなくなります。
- SSIDとは、本商品と無線LANカードとが通信時に使用するネットワーク識別用のIDです。本商品にSSIDを設定しておき、接続するパソコン等にも同じSSIDを設定しておけば、通信が可能になります。このように、接続する本商品をSSIDで指定することができます。SSIDは、セキュリティ機能の一つに分類される場合もありますが、あくまでも接続先の識別機能ですので、SSIDを設定後に、他のセキュリティ設定をすることをお勧めします。
- ANY接続とは、パソコンに装着した無線LANカードの設定で、接続先アクセスポイントのSSIDを空欄に設定した場合に、クライアント端末から電波が届く範囲にいるアクセスポイントの中で最も電波状態が良いアクセスポイントに接続する方法のことです。無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）を「無効」に設定しておくと、アクセスポイントのSSIDがわからなくとも接続が可能ですので、セキュリティ面から見ると好ましくなく、正常に無線通信の設定ができたあとはアクセスポイント側で無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）を「有効」にすることをお勧めいたします。無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）を「有効」に設定している場合は、ANY接続で接続する事はできません。また、アクセスポイント側にWEPキー等の暗号化設定がなされている場合、設定内容を一致させないと通信を行うことはできません。

⑤パソコンに無線LANカードのドライバをインストールする

ここからは無線LANカードの設定になります。

パソコンに無線LANカードのドライバをインストールします。

※以降はOSにWindows Vista™ Home Premiumを使用する場合を説明しています。
他のOSをご使用になるときは専用の無線LANカードのCD-ROMに収録されている詳細取扱説明書を参照してください。(「Web Caster FT-STC-Va/g詳細取扱説明書」の「ドライバをインストールしましょう」)

●インストールするときには以下の点にご注意ください。

・パソコンは、必ずAdoministrator権限のあるユーザでログインしてください。

・すべてのアプリケーションを終了してください。セキュリティソフト(ウイルスチェックプログラム等)をご利用中にインストールを行うと正常終了しない場合があります。

・他の無線LAN製品のドライバ・ユーティリティがインストールされているときはアンインストールしてください。

・パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」になっている必要があります。パソコンの設定をご確認ください。

・専用無線LANカード(Web Caster FT-STC-Va/g 無線LANカード)はスタンバイモードには対応していません。
インストールする前に、ご使用のパソコンの取扱説明書等をお読みになり、スタンバイモードを解除しておいてください。

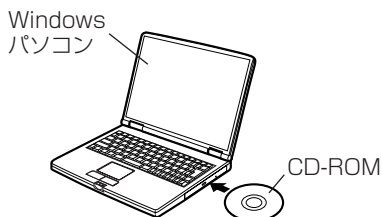
・手順9(☛P6-9)までは、無線LANカードをPCカードスロットに取り付けないでください。インストールに失敗する場合があります。

6 無線LANを利用する

お願い

● 本商品は無線LANカードWeb Caster FT-STC-Va/gを使用した無線LAN接続のみ動作保証いたします。その他の無線LAN 製品、パソコン内蔵の無線LANカード等との接続は保証いたしませんのでご注意ください。

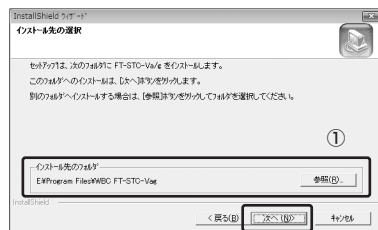
本商品とパソコンの設定

1 パソコンの電源を入れ、Web Caster FT-STC-Va/g専用CD-ROMをセットします

2 メニュー画面が自動的に表示されます

「ドライバとユーティリティのインストール」をクリックします
※下記の画面が自動で表示されない場合は、「自動再生」画面の［FT-STC-Va_g.exe］をクリックしてください。また「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

3 インストール確認画面の「次へ」をクリックします

4 「使用許諾契約書」画面の内容をよくお読みいただき、「使用許諾契約書」に同意される場合は「はい」をクリックします

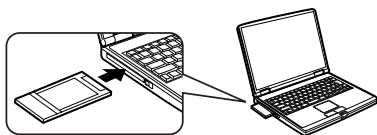
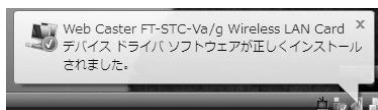
5 「インストール先の選択」画面が表示されます

①インストール先のフォルダ
　ドライバのインストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、インストール先を指定します。

6 「次へ」をクリックします

7 「完了」をクリックします

8 「END」をクリックしてメニューを終了します

設定後、CD-ROMをパソコンから取り出してください。

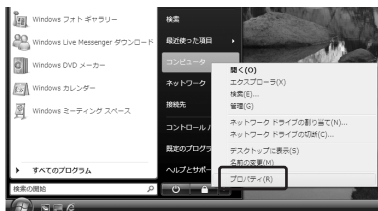
9 無線LANカードを取り付けます

※無線LANカードが正しく認識されると、メッセージが表示される場合があります。

お知らせ

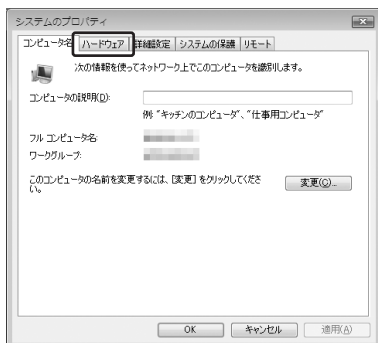
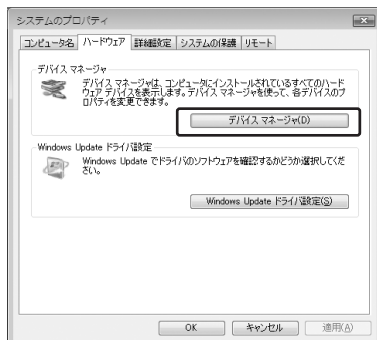
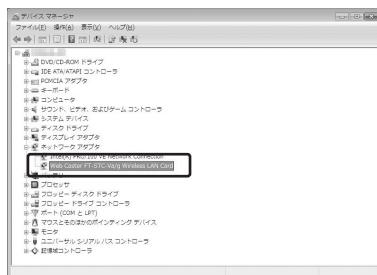
●「ドライバとユーティリティのインストール」をクリックすると右図のようなメッセージを表示するときがありますが、「はい」をクリックしてインストールを続けてください。
※パソコンの設定によって異なるメッセージを表示するときがあります。

●万が一、インストール手順でダイアログ ボックスが前面に表示されない場合は、「Alt+Tab」キー、または「Alt+ESC」キーで画面を切り替え、設定を続けてください。

本商品とパソコンの設定

⑥インストールの状態を確認する

1 [スタート]をクリックし、[コンピュータ]上で右クリックして、[プロパティ]を選択します

2 「システム」の画面上の[設定と変更]をクリックします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください

3 「システムのプロパティ」の画面上の［ハードウェア］タブをクリックします

4 デバイスマネージャの項の［デバイスマネージャ］をクリックします

5 「デバイスマネージャ」の「ネットワーク　アダプタ」をダブルクリックし、「Web Caster FT-STC-Va/g Wireless LAN Card」があることを確認します

お知らせ

- Windows® 2000/Me/98SEのOSをお使いの場合は、［マイコンピュータ］のアイコンはデスクトップ上にあります。
- もし「Web Caster FT-STC-Va/g Wireless LAN Card」のアイコンの前に“！”マークがついている場合は、何らかの問題が発生しています。
  その際には、パソコンの再起動をしたり、ドライバの再インストールを行ってください。

本商品とパソコンの設定

⑦パソコンからアクセスポイント（本商品）へ通信する（インフラストラクチャ・モード）

インフラストラクチャ・モードとは、無線LANカードを搭載したパソコンからアクセスポイント（本商品）を介し、無線LAN上で通信を行う場合に設定するモードです。
ここでは、無線LANカードを装着したパソコンから、アクセスポイント（本商品）に無線LANで接続するための設定をします。

1 本商品の電源が入っていることを確認します

2 本商品の無線ネットワーク名（SSID）を確認します

本商品の無線ネットワーク名（SSID）を記録しておいてください。

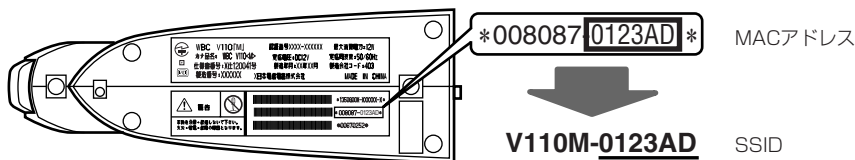
3 タスクトレイのユーティリティアイコン をダブルクリックします

アイコンが表示されていない場合は、「スタート」－「すべてのプログラム」－「WBC FT-STC-Vag」－「WBC FT-STC-Vag設定ユーティリティ」をクリックしてください。

4 ユーティリティの画面が開きます

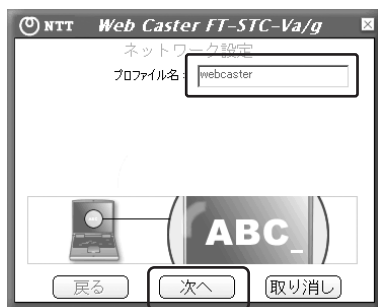
※本商品のSSIDについては、工場出荷時に「V110M【MACアドレスの下6桁（英数大文字）】」で設定されています。

●MACアドレスの確認方法

本体底面にシールが2箇所貼り付けてあり、バーコードがあるシールにMACアドレスが記載してあります。
中央のバーコードの右に書いてあるものがMACアドレスになります。

［本商品の底面］

シールの表示が上記の場合は、本商品のSSIDは「V110M-0123AD」となります。
※SSIDの「V110M-0123AD」のアルファベットは大文字、となりますのでご注意ください。

5 上部の[設定]タブをクリックします
工場出荷時は何も入っていませんので、[追加]をクリックしてネットワーク設定を行います

6 ネットワーク設定を行います
プロファイル名は任意の英数字を入力してください
入力が完了したら[次へ]をクリックしてください

7 事前に調べておいたアクセスポイント（本商品）の無線ネットワーク名（SSID）をSSIDの欄に入力します
入力が完了したら[次へ]をクリックしてください

8 [次へ]をクリックしてください

アクセスポイント（本商品）が暗号化されている場合は、後述の「⑧無線LANカードに暗号化を設定する」に従って認証モードを変更してください。

9 [完了]をクリックしてください

お知らせ

● SSIDとは、本商品と無線LANアクセスポイントとが通信時に使用するネットワーク識別用のIDです。無線LANアクセスポイントにSSIDを設定しておき、その無線LANアクセスポイントと接続するパソコン等にも同じSSIDを設定しておけば、通信が可能になります。このように、接続する無線LANアクセスポイントをSSIDで指定することができます。SSIDは、セキュリティ機能の一つに分類される場合もありますが、あくまでも接続先の識別機能ですので、SSIDを設定後に、他のセキュリティ設定をすることをお勧めします。

（次ページに続く）

本商品とパソコンの設定

10 設定した内容が反映されることを確認してください
リストから追加したネットワーク設定を選択した状態で、[接続]をクリックしてください

通信をしているネットワーク名の前には 印がつきます。

11 手順10で表示されている画面上部の[設定選択]タブをクリックし、[詳細…]をクリックします
詳細情報が表示されますので[無線LAN情報]の信号強度と通信品質が表示されていることを確認した後、ウィンドウを閉じます

以上で、アクセスポイント（本商品）との無線LAN接続関連の設定は終了です。
通信内容の暗号化設定を行う場合は、引き続き「⑧無線LANカードに暗号化を設定する」をお読みください。

 お知らせ

●本ユーティリティを使用してIPアドレスを設定する場合はIPアドレス設定メニューから［設定する］を選択した後、［次へ］ボタンをクリックしてIPアドレス入力画面で設定を変更してください。
● タスクトレイに格納されているアイコンを確認することでも通信状態を確認することができます。

：無線LANネットワークに接続中

：無線LANネットワークを検索中

⑧無線LANカードに暗号化を設定する

無線LANカードに暗号化を設定します。
ここではアクセスポイント（本商品）に暗号方式TKIP+PSK、PSK(事前共有キー)「abcdefgh」を設定したときの設定例を示します。
それ以外の項目を選択する場合は、「Web Caster FT-STC-Va/g」のマニュアルを参照してください。

お知らせ

- ご使用のパソコンのOSがWindows® XPの場合に暗号化方式でWPAを使用するには、Windows® XPサービスパック1以上とWPAサポート修正プログラムをあらかじめインストールしておく必要があります。本書は上記サービスパックおよび修正プログラムがご使用のパソコンにインストールされていることを前提に記述しています。
- WPAサポート修正プログラムについてはマイクロソフト社のサポート技術情報 826942「Windows XP の WPA ワイヤレス セキュリティ アップデートの概要」を参照してください。マイクロソフト社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/）で、「サイトの検索」欄に 826942と入力し、「検索」をクリックすることで参照できます。

1 **タスクトレイのユーティリティアイコン をダブルクリックします**

アイコンが表示されていないときは、「スタート」－「すべてのプログラム」－「WBC FT-STC-Vag」－「WBC FT-STC-Vag設定ユーティリティ」をクリックしてください。

2 **ユーティリティの画面が開きます**

3 **上部の[設定]タブをクリックします**
利用するネットワーク設定を選択し、[変更]をクリックします

4 **[プロファイル名]の設定画面が表示されますので[次へ]をクリックして[認証モード]の設定画面まで進みます**

5 **[認証モード]のメニューから[WPA-PSK]を選択し、[入力方法]メニューから[TKIP]を選択し、[次へ]をクリックします**

（次ページに続く）

本商品とパソコンの設定

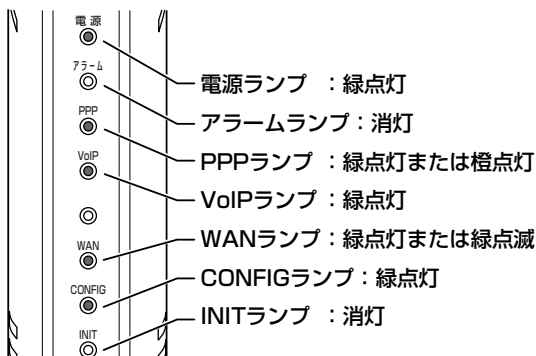
6 アクセスポイント（本商品）で設定したネットワークキー（事前共有キー）を入力してください
入力が完了したら[次へ]をクリックしてください

7 IPアドレス設定の画面が表示されますので[完了]をクリックしてください
以上で、暗号化の設定は終了です

⑨無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を有効に変更する

Webブラウザで本商品にログインし、メニューの「ルータ設定」―「無線LAN設定」―「基本設定」をクリックし、設定画面で「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否)」項目を「有効」に設定し直してください。無線ネットワーク名（SSID）が隠蔽されます。設定の手順については、「④無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を無効に変更する」（☛P6-6）を参照してください。

⑩無線LAN接続を確認する

ランプ表示が右図の状態になったことを確認の上、本商品とパソコンを接続しているLANケーブルを抜いたあと、インターネットに接続できることを確認してください。Internet Explorerのアドレス入力欄に「http://www.ntt.co.jp/」とURLを入力して「Enter」キーを押し、ホームページが表示されたら、接続に成功しています。通信できない場合は手順にそって設定内容をご確認ください。

⑪必要に応じて本商品と無線LANカードの設定を変更する

これまでの手順で無線LANに関する基本的な設定は完了しています。お客様のご使用方法に応じて設定の変更が必要な場合は、ここで変更を行ってください。（「アクセスポイント（本商品）の暗号化設定」（☛P6-5）、「④無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を無効に変更する」（☛P6-6）、詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－MACアドレスフィルタリング」、および「Web Caster FT-STC-Va/g 取扱説明書」、「Web Caster FT-STC-Va/g 詳細取扱説明書」を参照）

⑫無線LAN設定を終了する

以上の手順を実施していただくと、本商品を無線LANアクセスポイントとして使用することが可能になります。

LANケーブルを使用しない設定

これまで、パソコンと本商品をLANケーブルで接続して本商品を簡易に設定するための方法を説明してきましたが、LANケーブルを使用しないで設定される方は以下の手順でも本商品の無線LAN設定を実施することができます。

②本商品に無線LAN カードを取り付ける ☛P6-4

↓

⑤パソコンに無線LAN カードのドライバをインストールする ☛P6-7

↓

⑥インストールの状態を確認する ☛P6-10

↓

⑦パソコンからアクセスポイント（本商品）へ通信する（インフラストラクチャ・モード） ☛P6-12

↓

③本商品に暗号化を設定する ☛P6-5

↓

⑧無線LAN カードに暗号化を設定する ☛P6-15

↓

⑪必要に応じて本商品と無線LANカードの設定を変更する ☛P6-17

↓

⑫無線LAN設定を終了する ☛P6-17

お知らせ

● Webブラウザで本商品にログインし、本商品の設定を変更してから再起動すると、その後すぐには　無線LANカードを搭載したパソコンからWebブラウザで本商品にログインできず、「ページが表示できません」の画面になる場合があります。

7 バージョンアップする

本商品を最新の状態にバージョンアップすることができます。
ここでは、本商品をバージョンアップする方法について説明します。

本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。

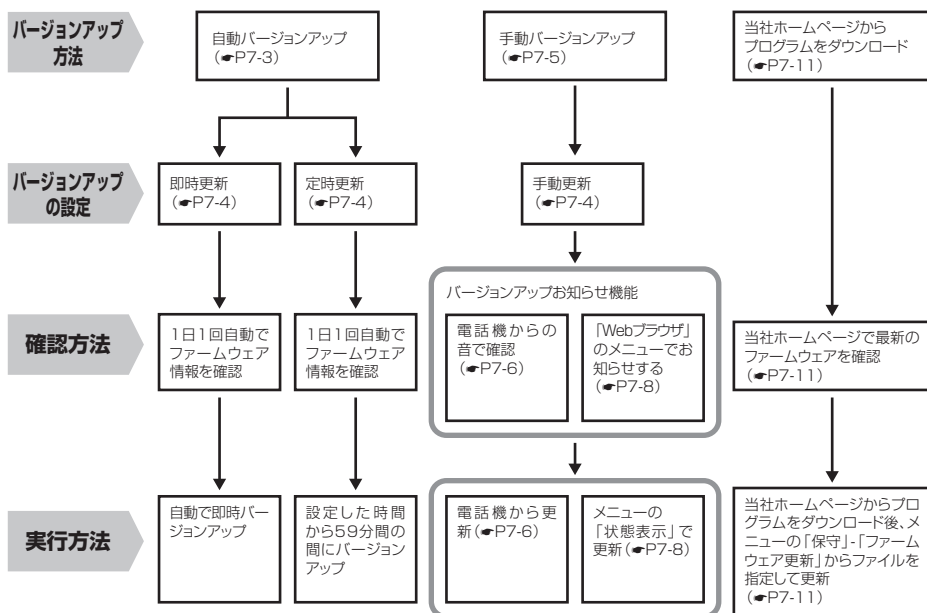
バージョンアップ機能

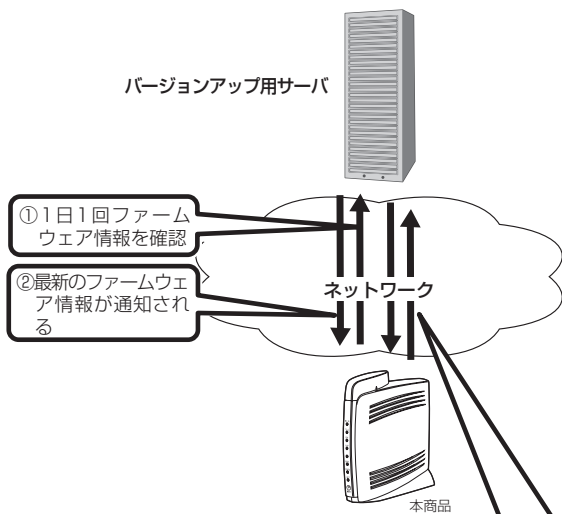
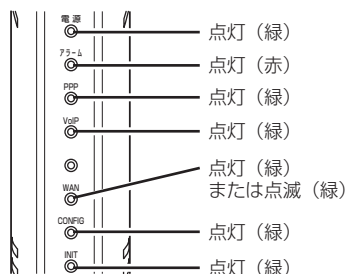
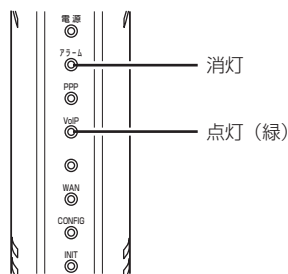
バージョンアップ機能は以下の4つに分類されます。

分類	説明
初期設定でのバージョンアップ	本商品を初めてお使いのとき、または本商品が初期設定状態のときに自動で行われるバージョンアップ機能です。(「かんたん設定」(☛P5-2))
自動バージョンアップ	本商品がネットワーク上の当社のサーバと通信して、自動的に最新のファームウェアにバージョンアップする機能です。
手動バージョンアップ	本商品が最新のファームウェア情報をお知らせしたときに、お客様ご自身でバージョンアップを行っていただく機能です。
当社ホームページからプログラムをダウンロード	お客様が当社のホームページ上にて最新のファームウェア情報を確認し、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行っていただく機能です。

バージョンアップの流れ

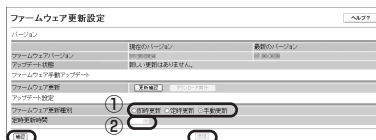
本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。

自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする

自動バージョンアップ機能

「自動バージョンアップ機能」とは、本商品が定期的にネットワークを介して当社サーバと通信を行い、最新のファームウェア情報を確認した場合にはダウンロードと更新を自動的に実行して、ファームウェアを最新の状態に保つ機能です。

自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする

設定方法

Webブラウザで本商品にログインして、「ファームウェア更新設定」を行います

1 メニューから「保守」－「ファームウェア更新設定」をクリックします

2 ファームウェア更新設定画面で「アップデート設定」を行います

①ファームウェア更新種別

ファームウェアのバージョンアップ方法を選択します。（「定時更新」を選択してご利用いただくことを推奨します。）

即時更新：
自動バージョンアップを行います。
最新のファームウェアを確認すると即座にダウンロードして自動的にバージョンアップを実施します。

定時更新：
自動バージョンアップを行います。
「定時更新時間」を指定しておくことで、最新のファームウェアを確認したあと、指定した時間になるとファームウェアのダウンロードとバージョンアップを自動的に実施します。

手動更新：
自動バージョンアップを行いません。
ファームウェアの更新が通知されたときに、お客様ご自身でバージョンアップを行っていただく必要があります。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛7-5））

②定時更新時間

「ファームウェア更新種別」を「定時更新」にした場合の定時更新時間を、00：00 ～ 23：00から選択します。
バージョンアップが行われるのは、指定した時間から1時間以内です。

3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします

4 「送信」をクリックします

5 「反映」をクリックします

再起動終了後、設定した内容が有効になります。

お願い

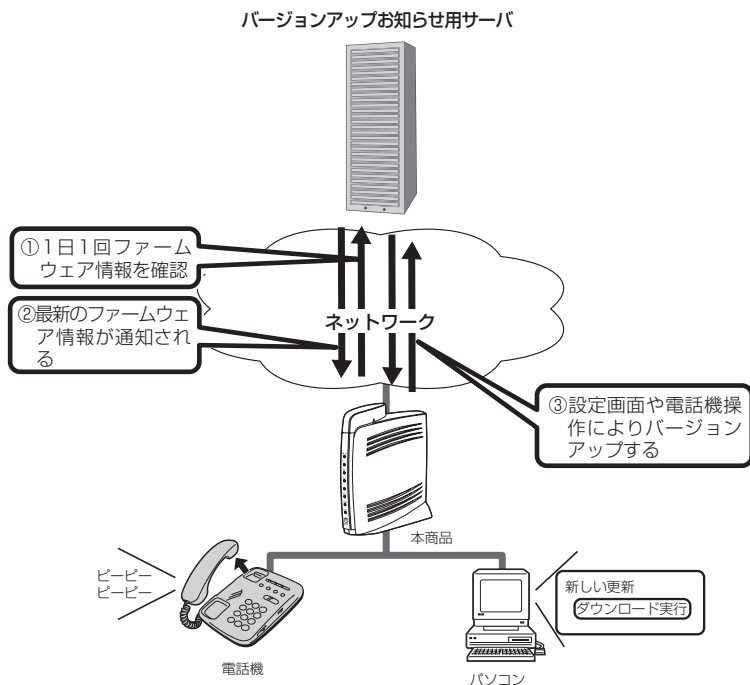
● バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

お知らせ

● 本商品のファームウェアを最新の状態に保つために「ファームウェア更新種別」は「定時更新」を選択してご利用いただくことを推奨します。
● ひかり電話の通話中、システム更新中は、それらが終了したあと自動的にファームウェアのダウンロード処理を行います。
● 自動バージョンアップ中は、ひかり電話がご利用いただけません。その間は緊急通報等もかけることができませんのでご注意ください。
● バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップが実行される場合がありますのでご注意ください。
● ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。
● 自動バージョンアップが実施されたとき、映像コンテンツの視聴など一部のサービスは中断する場合があります。ファームウェア更新が終了するまで、しばらくお待ちください。
●緊急を要するファームウェアが提供された場合は、「ファームウェア更新種別」の設定に関わらず、ファームウェア更新が行われることがあります。正面の全ランプが点灯（WANランプは点灯または点滅）している間は絶対に電源を切らないでください。

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

バージョンアップお知らせ機能

「バージョンアップお知らせ機能」とは、本商品が定期的にネットワークを介して当社サーバと通信を行い、最新のファームウェア情報を確認した場合に、お客様へ通知する機能です。

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

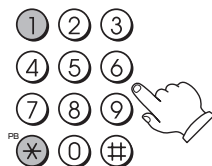
バージョンアップ方法

バージョンアップお知らせ機能により最新のファームウェア情報があることが通知されたときは、以下の方法でバージョンアップを行ってください。

●電話機からの音でお知らせする

1 ハンドセット（受話器）を取りあげる

2 「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という発信音の前に聞こえる

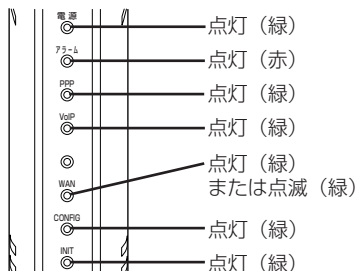
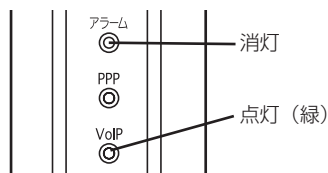
3 「＊＊＊１１」とダイヤルし、「ププ」という音が聞こえることを確認する

※「ププ」という音が聞こえない場合は、ハンドセット（受話器）を置いて手順１からやり直してください。

お願い

● バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

お知らせ

●接続する電話機の回線種別は「PB」に設定してください。
●バージョンアップ中は、ひかり電話をご利用いただけません。
● バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップを実行する場合はご注意ください。
● ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。

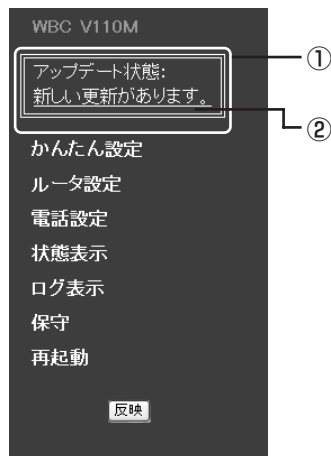
4 ハンドセット（受話器）を置くとバージョンアップが開始される

5 しばらく待ち、バージョンアップが完了したことを確認する

ワンポイント

- 電話でお話ししたあとでバージョンアップを行う場合、発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。
- バージョンアップを行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。
- ファームウェア更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、ファームウェア更新に時間がかかる場合があります。

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

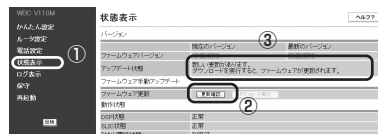
●Webブラウザでお知らせする

バージョンアップお知らせ機能は、手順1のいずれかの方法でバージョンアップをお知らせします。

1 メニューでお知らせする

①メニューの上に「新しい更新があります。」と表示されます。

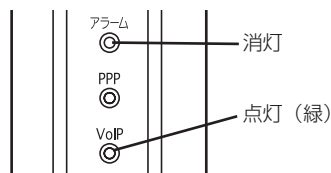
②クリックすると「状態表示」画面が表示されます。

（「設定画面の「状態表示」でお知らせする」にお進みください。）

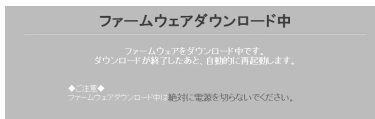
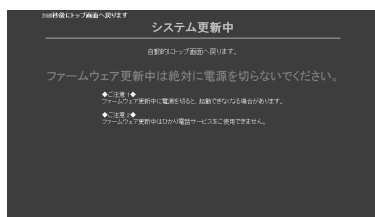
設定画面の「状態表示」でお知らせする

①メニューの「状態表示」をクリックします。

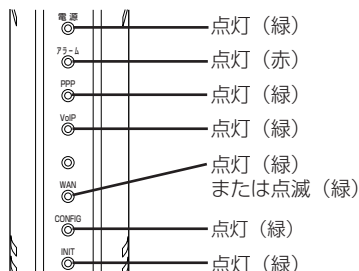
②「更新確認」をクリックします。

③「アップデート状態」に「新しい更新があります。ダウンロードを実行すると、ファームウェアが更新されます。」と表示されます。

- 「新しい更新はありません。」の場合
  最新のファームウェア情報はありません。既に最新のファームウェアでご利用いただいています。
- 「更新を確認しています。」の場合
  ① そのまましばらくお待ちください。（「アップデート状態」の表示が自動的に更新されます。）
  ② 更新確認後に表示される「アップデート状態」の内容にしたがって作業をしてください。
- 「ファームウェアをダウンロード中です。」の場合
  そのまましばらくお待ちください。ランプ表示が下の状態になることを確認してください。

- 「更新の確認に失敗しました。」の場合
  「更新確認」をクリックして最初からやり直してください。

2 「ダウンロード実行」をクリックします

3 「ダウンロード中」画面が表示されます

ファームウェア更新中は「システム更新中」画面が表示されます

※画面にエラーメッセージが表示される場合

「●エラーメッセージが表示された場合」（☛P7-10）を参照してください。

4 ファームウェア更新が完了すると「かんたん設定」画面が表示されます

お願い

- バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

ワンポイント

- ファームウェア更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、ファームウェア更新に時間がかかる場合があります。

お知らせ

- バージョンアップ中は、ひかり電話をご利用いただけません。
- バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップを実行する場合はご注意ください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。

（次ページに続く）

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

●エラーメッセージが表示された場合

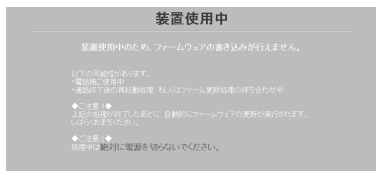
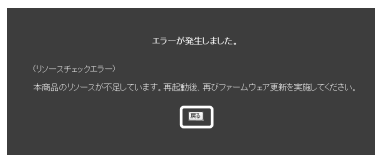
(1)ファームウェアのダウンロードに失敗した場合

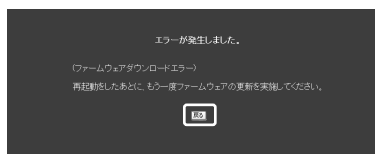
「戻る」をクリックします

「状態表示」画面へ戻ります。
※「状態表示」画面のアップデート状態は、「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」を表示します。

「更新確認」をクリックして再度実施してください。

(2) 装置使用中の場合

通話中など装置使用中のときは、以下の画面表示になり、装置使用中の処理が終了後、自動的にバージョンアップが再開されます。ファームウェア更新中は「システム更新中」画面が表示され、ファームウェア更新が完了すると「かんたん設定」画面が表示されます。

(3)ファームウェアの更新に失敗した場合

「戻る」をクリックします

「戻る」をクリックします

「状態表示」画面へ戻ります。
※「状態表示」画面のアップデート状態は、「ファームウェアの更新に失敗しました。」を表示します。

「再起動」メニューから再起動を実施してください。

お知らせ

● 再度手順を行ってもエラーが表示される場合は、「当社ホームページからプログラムをダウンロードしてバージョンアップする」の「バージョンアップ方法」(☛P7-11)の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

当社ホームページからプログラムをダウンロードしてバージョンアップする

当社ホームページからパソコンへいったん本商品のプログラム（ファームウェア）をダウンロードしたあとで、パソコンから本商品に反映します。

※バージョンアップの時期・方法などにつきましては、以下のホームページをご確認ください。

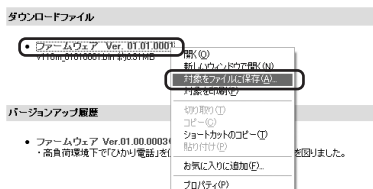
当社ホームページ【NTT東日本】http://web116.jp/ced/
【NTT西日本】http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

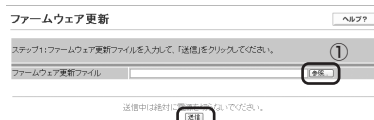
バージョンアップ方法

1 メニューから「状態表示」をクリックします

2 使用中のファームウェアバージョンを確認します

3 当社ホームページへアクセスし、最新のファームウェアを確認します。現在ご使用中のファームウェア（手順2で確認したもの）より提供されているファームウェアが新しいことを確認してください

4 Webブラウザの、最新「ファームウェアのバージョン」表示部分を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選び、保存するフォルダを指定してファームウェアをダウンロードします

5 メニューから「保守」－「ファームウェア更新」をクリックします

6 ファームウェア更新画面が表示されます

①「参照」をクリックしてファームウェアを選択します

手順4でダウンロードしたファームウェアのあるフォルダを指定し、ファームウェアを選択します。

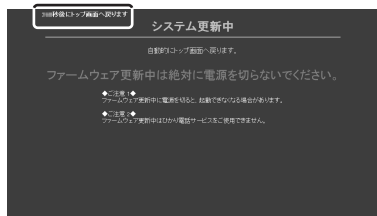
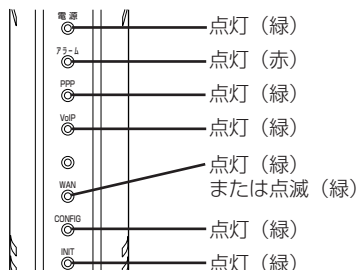
7 「送信」をクリックします

8 「実行」をクリックします

（次ページに続く）

当社ホームページからプログラムをダウンロードしてバージョンアップする

9 「システム更新中」画面が表示されます

残り時間を表示します。しばらくお待ちください。トップ画面（「かんたん設定」画面）に戻るまでの秒数はファームウェア更新の内容により異なります。

本商品のランプ表示が以下のようになることを確認してください。

10 「かんたん設定」画面を表示します

お願い

- バージョンアップ中に本商品の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因になることがあります。

ワンポイント

- ファームウェア更新は映像コンテンツの視聴などのサービスを停止させてから行ってください。同時に行い本商品に負荷がかかった場合に、ファームウェア更新に時間がかかる場合があります。

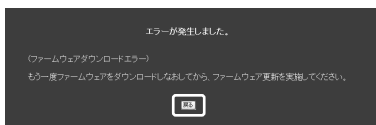
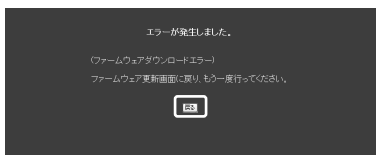
お知らせ

- バージョンアップ中はひかり電話をご利用いただけません。
- バージョンアップ中（数分間）はすべての接続が切断されます。インターネットご利用中にバージョンアップを実行する場合はご注意ください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、バージョンアップに失敗することがあります。

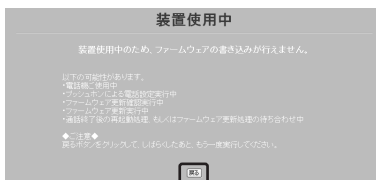
●エラーメッセージが表示された場合

(1)ファームウェアのダウンロードに失敗した場合

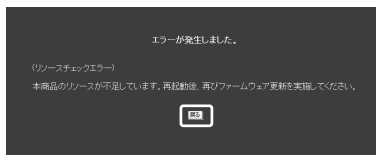
手順1からやり直してください。再度エラーが表示された場合はWebブラウザを終了し、手順1からやり直してください。

「戻る」をクリックします

「戻る」をクリックします

(2)装置使用中の場合

通話中など装置使用中のときは以下の画面を表示します。

「戻る」をクリックします

装置使用中の処理が終わったあとに再度ファームウェア更新を行ってください。

(3)ファームウェアの更新に失敗した場合

「戻る」をクリックします

「状態表示」画面へ戻ります。「再起動」メニューから再起動を実施してください。

8 故障かな？と思ったら

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

トラブルや疑問点がある場合

本商品が上手く動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときにはこちらをお読みください。

1 以下の内容を確認してください

・ACアダプタは、確実に入っているか（電源ランプは点灯しているか）

・電話機コードやLANケーブルの接続に間違いはないか

・電話機コードやLANケーブルは奥まできちんと差し込まれているか

・パソコンのネットワークの設定は正しいか
ネットワーク状況などを確認するコマンド（ipconfigなど）コマンドを入力してIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが表示されるか確認してください。表示されない場合はネットワーク設定をやり直してください。（「4章　パソコンを設定する」（☛P4-1）および「パソコンのネットワーク設定」（☛P9-2））

2 チェック項目を確認し、該当する内容があれば処置してください（☛P8-3～）

3 Webブラウザを使用して「状態表示」を確認し、対処してください

「状態表示を確認する」（☛P8-15）

4 本商品の電源を入れ直して、症状を再確認してください

5 1～4を実施しても問題が解決しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください

その場合、症状を確認させていただきますので、あらかじめ以下の内容をご確認ください。

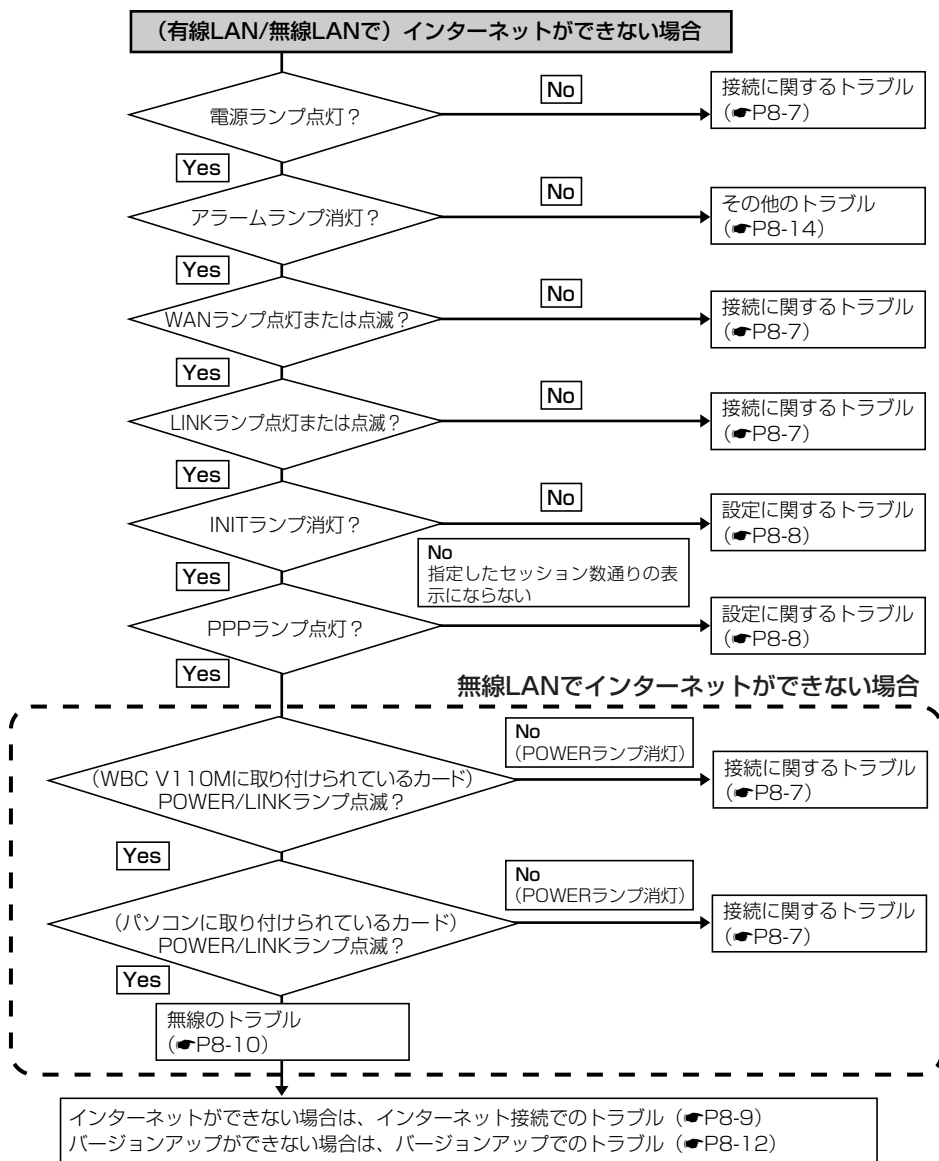
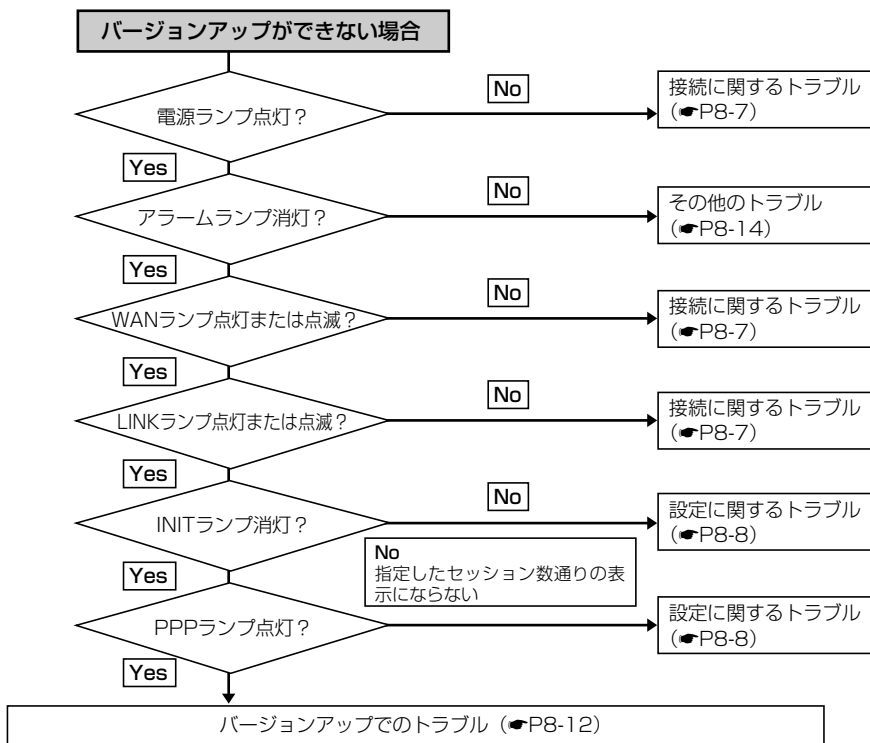
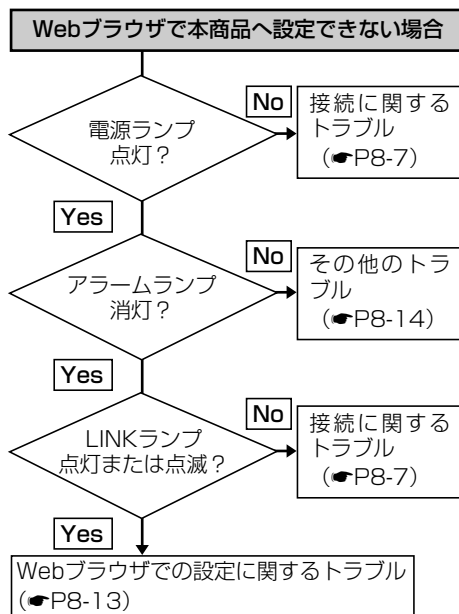
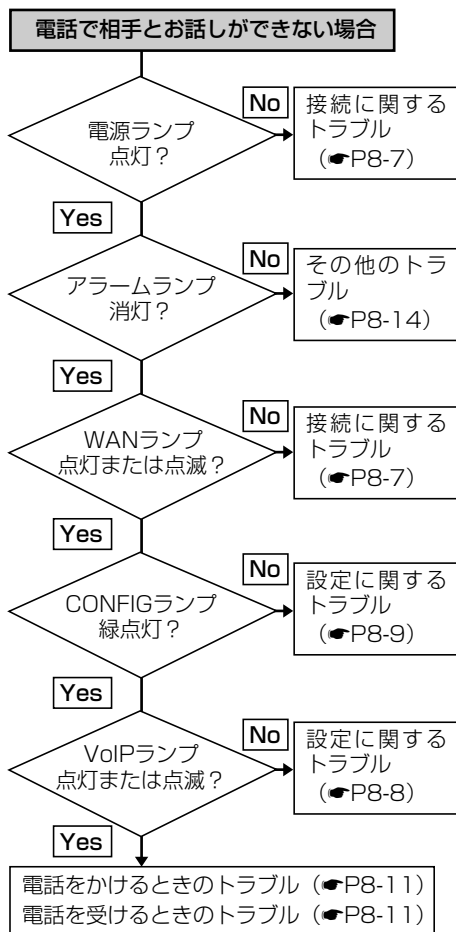
（1）具合的に何ができないか

（2）商品状況
・本商品のランプ表示
・Webブラウザ画面に表示されるエラーメッセージ

（3）通話状況
・通話ができるか
・通話できない場合は、ハンドセット（受話器）から音が聞こえるか
・ダイヤルした番号

以下に、代表的な「症状」と確認手順をまとめました。
処置したあとに、症状が起きないことを確認してください。
該当する「症状」がない場合は、「トラブルシューティング」(☛P8-7)を参照して該当する内容を検索してください。

トラブルや疑問点がある場合

バージョンアップができない場合
電源ランプ点灯？
No
接続に関するトラブル（☛P8-7）
Yes
アラームランプ消灯？
No
その他のトラブル（☛P8-14）
Yes
WANランプ点灯または点滅？
No
接続に関するトラブル（☛P8-7）
Yes
LINKランプ点灯または点滅？
No
接続に関するトラブル（☛P8-7）
Yes
INITランプ消灯？
No
設定に関するトラブル（☛P8-8）
Yes
PPPランプ点灯？
No
指定したセッション数通りの表示にならない
設定に関するトラブル（☛P8-8）
Yes
バージョンアップでのトラブル（☛P8-12）

トラブルや疑問点がある場合

トラブルシューティング

●接続に関するトラブル

症状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	**電源が正しくつながっていない可能性があります。** ①ACアダプタが電源コンセントに差し込まれているか確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2）） ②ACアダプタのケーブルが本商品に接続されているか確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2）） **停電の可能性があります。** 停電などで電源が切れたときは本商品をご使用になれません。ほかの電化製品の動作状況をお調べいただくなど、停電が発生していないかをご確認ください。
WANランプが消灯している	**ケーブルやモデムなど正しくつながっていない、または正しい順番で接続を行っていない可能性があります。** ①本商品と回線終端装置/VDSLモデム/RJ-45ポート等との接続構成を確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2）） ②回線終端装置、VDSLモデムに電源が入っているか確認してください。
パソコンを接続したLAN側接続ポートのLINKランプが消灯している	**ケーブルは正しくつながっていない、または正しい順番で接続を行っていない可能性があります。** ①本商品とパソコン等との接続構成を確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2）、「通信の正常性を確認する」（☛P8-21）） ②接続に問題がなければ、LANカードが正しく動作しているか確認してください。なお、LANカードについてのトラブルは、パソコンあるいはLANカードのメーカーにご相談ください。
無線LANカードのPOWER/LINKランプが消灯している（本商品）	**本商品に無線LANカードが正しく取り付けられていない可能性があります。** カードスロットの奥まで正しく無線LANカードが取り付けられているか確認してください。（「②本商品に無線LANカードを取り付ける」（☛P6-4））
無線LANカードのPOWER/LINKランプが消灯している（パソコン）	**パソコンに無線LANカードが正しく取り付けられていない可能性があります。** ①PCカードスロットの奥まで正しく無線LANカードが取り付けられているか確認してください。（「⑤パソコンに無線LANカードのドライバをインストールする」（☛P6-7）） ②パソコンにPCカードスロットが複数ある場合には、他のPCカードスロットに差し替えてみてください。

トラブルシューティング

●設定に関するトラブル

症状	原因と対策
INITランプが赤点灯している	**初期設定状態です。** インターネットができない場合は「初期情報設定」から本商品にインターネットの設定を行ってください。（「かんたん設定」（☛P5-2））
PPPランプが消灯している	**インターネットサービスプロバイダ設定を行っていない、または設定した情報が誤っている可能性があります。** インターネットができない場合は、プロバイダの設定情報を参照して、「PPPoE設定」画面の「接続先設定」にて「使用するセッション」に設定した「接続先1～5」の「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が正しい内容であるか確認してください。（☛詳細取扱説明書「設定項目説明－PPPoE設定」） **使用するセッションがつながっていない可能性があります。** 「状態表示」画面で「PPPoE状態（セッション１/セッション２）」を確認してください。 すべて「未使用」「異常」「認証エラー」になっている場合は、PPPランプが消灯します。（「状態表示を確認する」（☛P8-15）） 「PPPoE設定」で「接続モード」に「常時接続」を選択した接続先につなぐ場合には、「状態表示」画面から使用する「セッション」に対して「有効」の設定を行ってください。 「接続モード」に「要求時接続」を選択した接続先につなぐ場合には、本商品に接続しているパソコンなどから通信が要求されると、接続は必要に応じて自動的に行われます。ただし「自動切断までの時間」に設定した時間、接続先との通信がないと、通信状態ではないと判断してセッションが自動的に切断され、PPPランプは消灯します。 **電源を入れる順番を誤っている可能性があります。** 本商品と回線終端装置/VDSLモデムの電源を入れ直してください。電源を入れるときは回線終端装置/VDSLモデム→本商品の順番で行ってください。（「回線を接続する」（☛P2-2））
VoIPランプが消灯している	**ひかり電話の接続が誤っている可能性があります。** ①本商品と回線終端装置/VDSLモデム/RJ-45ポート等との接続構成を確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2）） ②本商品がひかり電話サービスをご利用いただけない状態になっている可能性があります。本商品の電源を入れ直してください。（「回線を接続する」（☛P2-2）） ③ひかり電話を申し込んだ回線に接続しているか確認してください。

症状	原因と対策
CONFIGランプが緑点滅している	**自動設定中です。** 自動設定サーバと通信を行い、本商品の自動設定を行っています。VoIPランプとCONFIGランプが緑点灯するまでしばらくお待ちください。
CONFIGランプが赤点灯している	**自動設定サーバとの接続で異常が発生しました。** ケーブルが正しく接続されていること、ひかり電話が開通していることを確認してください。(「回線を接続する」(☛P2-2))
CONFIGランプが赤点滅している	**ケーブルが正しくつながっていない、または正しい順番で接続を行っていない可能性があります。** ①本商品と回線終端装置/VDSLモデム/RJ-45ポート等との接続構成を確認してください。(「回線を接続する」(☛P2-2)) ②回線終端装置/VDSLモデムに電源が入っているか確認してください。 ③ひかり電話が開通していることを確認してください。 **自動設定サーバとの接続で異常が発生しました。** 自動設定サーバとの通信中にエラー(その他のエラー)が発生しました。しばらくお待ちになったあとで本商品の電源を入れ直してください。改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。

●インターネット接続でのトラブル

症状	原因と対策
パソコンからインターネットへアクセスできない	**パソコンの設定が誤っている可能性があります。** ①パソコンにIPアドレスが設定されているか確認してください。(ipconfigコマンドなど) IPアドレスが正しく設定されていないときは、パソコンのIPアドレスの取得方法と本商品のDHCP設定に不一致がないか確認してください。 (「4章　パソコンを設定する」(☛P4-1) および「パソコンのネットワーク設定」(☛P9-2)) ②ブラウザやARP、DNSのキャッシュ情報をクリアするためにパソコンの再起動を実施してください。 ③本商品とパソコンの電源を入れ直してください。電源を入れるときは回線終端装置/VDSLモデム→本商品の順番で行ってください。(「回線を接続する」(☛P2-2)) ④本商品からパソコンへPingを送信し、通信の正常性を確認してください。(「通信の正常性を確認する」(☛P8-21)) **パソコンがIPアドレスを正しく取得できていない可能性があります。** 本商品に接続される機器数が割り当てるアドレス範囲を超えると、正常に接続ができなくなる場合があります。本商品が割り当てるアドレス範囲を変更する場合には、接続される機器数以上の範囲を指定してください。(☛詳細取扱説明書「設定項目説明－DHCP設定」) **ルータのインターネット接続設定が正しく行われていない場合があります。** PPPランプが緑点灯もしくは橙点灯しており、インターネット接続がされていることを確認してください。

トラブルシューティング

●無線のトラブル

症状	原因と対策
無線LAN通信ができない	**設定情報が誤っている可能性があります。** 本商品とパソコンの設定を確認してください。（暗号化、無線ネットワーク名（SSID）など。）（「④無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を無効に変更する」（☛P6-6）） **パソコンとの接続を制限している可能性があります。** MACアドレスフィルタリング設定の内容を確認してください。 （☛詳細取扱説明書「設定項目説明－無線LAN設定－MACアドレスフィルタリング」） **設定場所に問題がある可能性があります。** 設置場所を変えてください。 ・本商品とパソコンを壁から離してください。 ・パソコンを見通せる位置に本商品を設置してください。 ・本商品とパソコンをディスプレイや他のパソコンの近くには設置しないでください。（パソコンから信号強度、接続品質などを確認してください。） **他の通信機器と電波干渉が発生している可能性があります。** ①通信に使用しているチャンネルや動作モードを変更してください。（「④無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を無効に変更する」（☛P6-6）） ②11bまたは11gを使用している場合は11aに変更してください。（「④無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を無効に変更する」（☛P6-6））
スループットが低下した	**他の通信機器と電波干渉が発生している可能性があります。** 通信に使用しているチャンネルを変更してください。（「④無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽を無効に変更する」（☛P6-6））

●電話をかけるときのトラブル

症状	原因と対策
ハンドセット（受話器）を取りあげても発信音が聞こえない	**電話機コードがつながっていない可能性があります。** 本商品と電話機を接続している電話機コードを含め機器の接続構成を確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2））
相手先が応答しない	**かけた電話番号が誤っている可能性があります。** 相手先の電話番号を確認してください。
ひかり電話が利用できない(全ランプが点灯(WANランプは点灯または点滅)している)	**バージョンアップを実行中です。** アラームランプが消灯し、PPPランプが緑点灯または橙点灯するまで電源を切らずにお待ちください。電話機のハンドセット（受話器）を取りあげて「ツー」という発信音が聞こえることをご確認の上、おかけ直しください。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛P7-6））
ひかり電話が利用できない （その他）	**ACR(LCR)機能や、0036、0039等の自動付与機能が設定されている可能性があります。** 本商品に接続している電話機のACR（LCR）機能や、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能が動作している場合、ひかり電話が使用できない場合があります。必ず電話機のACR（LCR）機能または、0036、0039等の事業者識別番号自動付与機能を無効にしてください。 **ひかり電話に非対応の電話機を接続している可能性があります。** i・トレンピーやG4FAX等のISDN対応電話機は使用できません。ひかり電話に対応した電話機を接続してください。 **「ツー」という発信音をご確認ください。** 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセット（受話器）を2秒以上置いてから、「ツー」という音を確認したあとダイヤルしてください。 **ひかり電話サービス対象外のダイヤルを利用している可能性があります。** ひかり電話をご利用できない電話番号をダイヤルしている場合があります。電話番号をご確認ください。（「ひかり電話で接続できる番号」（☛P3-7））
ハンドセット（受話器）を取り上げると「ピーピーピーピー」と音がする	**問題ありません。最新のファームウェアがあることを通知しています。** 最新のファームウェアがあることを通知しています。ファームウェアの更新を行ってください。正常動作です。（「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛P7-6））

●電話を受けるときのトラブル

症状	原因と対策
通話終了後にハンドセット（受話器）を置くと呼出音が鳴る	**保留されている通話があります。** フッキング（☛P3-4）して通話を保留し、別の相手先と通話したあとにハンドセット（受話器）を置いたときには呼出音が鳴ります。応答すると保留されていた相手との通話に戻ります。

トラブルシューティング

●バージョンアップでのトラブル

症状	原因と対策
ファームウェア更新が突然実行される	**問題ありません。最新のファームウェアへの更新を行っています。** ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定に関わらず、強制的に最新ファームウェアへの更新を行います。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
「アップデート状態」に「更新の確認に失敗しました。」と表示される	**セッションが切断されている可能性があります。** CONFIGランプ、VoIPランプが緑点灯していることを確認してください。消灯しているときは本商品を再起動後、「状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容にしたがってバージョンアップを行ってください。(「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」(☛P7-8))
「アップデート状態」に「ファームウェアのダウンロードに失敗しました。」と表示される	**セッションが切断されている可能性があります。** CONFIGランプ、VoIPランプが緑点灯していることを確認してください。消灯しているときは本商品を再起動後、「状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容にしたがってバージョンアップを行ってください。(「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」(☛P7-10))
設定画面から「ダウンロード実行」をクリックしても、ダウンロードが始まらない	**通話中の可能性があります。** 通話終了後に自動的にダウンロードが開始されます。 (「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」(☛P7-10))
「アップデート状態」に「ファームウェアの更新に失敗しました。」と表示される	**セッションが切断されている可能性があります。** CONFIGランプ、VoIPランプが緑点灯していることを確認してください。消灯しているときは本商品を再起動後、「状態表示」画面の「更新確認」をクリックし、更新された「アップデート状態」の表示内容にしたがってバージョンアップを行ってください。(「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」(☛P7-10))
Mac OSのパソコンからバージョンアップができない	**拡張子が誤っている可能性があります。** ファームウェアをダウンロードするときに、拡張子をbinからfooなどの任意の文字に変更してから保存してください。
電話機の操作でバージョンアップができない	**TELポートに接続された電話機の回線種別が「PB」になっていない。** 電話機の回線種別が「PB」になっているか確認してください。

●Webブラウザでの設定に関するトラブル

症状	原因と対策
Webブラウザで本商品にログインできない	**パソコンの設定、IPアドレスの取得に問題がある可能性があります。** 「●インターネット接続でのトラブル」(☛P8-9)に記載されている内容を確認してください。 **ユーザ名/パスワードが誤っている可能性があります。** 正しいユーザ名/パスワードを入力してください。 ・ユーザ名:admin ・パスワード:初期設定で入力したもの ※パスワードは忘れないようにメモして安全な場所に保管してください。お忘れになった場合は、本商品を初期化してください。(「本商品の初期化について」(☛P9-18)) **パスワードを変更したあとに「反映」していない可能性があります。** パスワードを変更したときは「反映」を必ずクリックしてください。忘れると、再起動したあとや本商品の電源を入れ直したあとに元のパスワードへ戻ってしまいます。(「パスワード設定」(☛P4-11))
Webブラウザで変更した通りに動作しない	**本商品の設定変更後、「反映」していない可能性があります。** 「反映」をクリックしてください。(「設定したデータで運用するには」(☛P4-9)) **Webブラウザの適切なバージョンをパソコンにインストールしていない可能性があります。** インストールをされていない場合には雑誌の付録CD-ROM等からインストールを行ってください。また、インターネット環境が既にある場合は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードをすることも可能です。(「設定の流れ」(☛P4-2))
ファームウェア更新や「反映」、「初期設定へ戻す」、「再起動」クリックなどにより、システム更新後または再起動後に「かんたん設定」画面が表示されない(「ページを表示できません」画面が表示される)	・アラームランプが消灯したあと、CONFIGランプが点灯することを確認してください。 ・次に、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、「ネットワーク接続」をクリックして開きます。 ・切断する接続を右クリックして「無効にする」を選択します。アクティブにする接続を右クリックして、「有効にする」を選択してください。 ・以上の手順、パソコンに設定されているネットワーク情報を更新したあと、Webブラウザのアドレス入力欄に「http://ntt.setup/」と入力して再度接続を試みてください。

トラブルシューティング

●その他のトラブル

症状	原因と対策
アラームランプが点灯している	**異常が発生しました。** 本商品の電源を入れ直しても改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
全ランプが点灯(WANランプは点灯または点滅)している	**バージョンアップを実行中です。** アラームランプが消灯し、PPPランプが緑点灯（2セッション接続時は橙点灯）するまで電源を切らずにお待ちください。 （「7章　バージョンアップする」（☛P7-1））
アラーム、PPP、VoIPランプが速い点滅をしている	**異常が発生しました。** 当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
アラームランプが点滅している	**異常が発生しました。** 本商品の電源を入れ直しても改善しない場合、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。
ひかり電話の付加サービス設定（ボイスワープ、迷惑電話おことわりサービスなど）ができない	**TELポートに接続された電話機の回線種別が「PB」になっていない。** 電話機の回線種別が「PB」になっているか確認してください。

状態表示を確認する

本商品の装置状態を表示することができます。（30秒ごとに最新の情報を表示します。）

1 メニューから「状態表示」をクリックします

2 「状態表示」画面が表示されます

（次ページに続く）

状態表示を確認する

（1）バージョン

本商品のファームウェアの状態を表示します。

項　目	内　容
ファームウェアバージョン	現在のバージョン 現在のファームウェアバージョンです。 最新のバージョン アップデートサーバにあるファームウェアバージョンです。
アップデート状態	本商品のファームウェアのアップデート状態を表示します。 ①「新しい更新はありません」 本商品に最新版のファームウェアが登録されている状態です。通常はこの表示になります。 ②「更新を確認しています」 サーバへファームウェアの登録情報を確認している状態です。 ③「新しい更新があります。ダウンロードを実行すると、ファームウェアが更新されます」 サーバに最新のファームウェアが登録された状態です。本商品のファームウェアを更新してください。 ④「更新の確認に失敗しました」 サーバのファームウェア登録状況確認が正常終了しなかった状態です。 ⑤「ファームウェアをダウンロード中です」 サーバのファームウェアを本商品にダウンロードしている状態です。 ⑥「ファームウェアのダウンロードに失敗しました」 サーバから本商品へのファームウェアダウンロードが正常に終了しなかった状態です。 ⑦「ファームウェアの更新に失敗しました」 ファームウェアの更新が正常終了しなかった状態です。

（2）ファームウェア手動アップデート

ファームウェア手動アップデートについては、「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする（☛P7-5）」を参照してください。

（3）動作状態

各所の状態を表示します。

項　目	内　容
DSP状態	本商品のハードウェア（信号変換部）の状態を表示します。 「正常」：通常は「正常」と表示します。 「異常」：いったん、本商品の電源を切り、TELポートと電話機コードの接続に間違いがないか、奥まで差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2））そのあと、再度電源を入れてください。それでも「正常」とならない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までお問い合わせください。
SLIC状態	本商品のハードウェア（TEL制御部）の状態を表示します。 「正常」：通常は「正常」と表示します。 「異常」：いったん、本商品の電源を切り、TELポートと電話機コードの接続に間違いがないか、奥まで差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2））そのあと、再度電源を入れてください。それでも「正常」とならない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までお問い合わせください。
ひかり電話状態	ひかり電話のサービス状況を表示します。 「利用可」　：ひかり電話がご利用可能な状態です。 「利用不可」：ひかり電話がご利用いただけない状態です。
CALLTBL状態	回線選択データベースの状態を表示します。 「正常」：通常は「正常」と表示します。 「異常」：本商品の電源を入れ直してください。 それでも「正常」とならない場合は、当社のお問い合わせ先窓口までお問い合わせください。

（次ページに続く）

状態表示を確認する

項　目	内　容
PPPoE状態（セッション1、セッション2）	WAN（セッション1、セッション2）側のネットワーク状態を表示します。 「正常」　：インターネットに接続できます。 「異常」　：インターネットに接続できていません。 ・「WANポート状態」を確認してください。（「異常」の場合は「WANポート状態」の記載に従い、対処してください。） ・他の装置で同じ「接続ユーザ名」、「接続パスワード」を使用してないか確認してください。 ・当社およびプロバイダのメンテナンス情報を確認してください。 「認証エラー」：PPPoE認証エラーです。 ・使用する接続先の「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が正しい内容であるか確認してください。 （☛詳細取扱説明書「設定項目説明－PPPoE設定」） ・他の装置で同じ「接続ユーザ名」、「接続パスワード」を使用してないか確認してください。 ・一度本商品の電源を切り、10分以上待ってから、再度電源を入れてください。 「未使用」：PPPoEを利用していない状態です。 ・ひかり電話はそのままご利用いただけます。 ・使用する接続先の「接続ユーザ名」、「接続パスワード」が正しい内容であるか確認してください。 （☛詳細取扱説明書「設定項目説明－PPPoE設定」） ・使用する接続先が「切断」状態になっている場合があります。「PPPoEセッション設定」を「有効」に設定してください。（「PPPoEセッション設定」（☛P8-19））要求時接続の場合は一定時間通信が無い場合はPPPoEが切断され未使用となります。通信を開始すると正常になりますので問題はありません。
WANポート状態	WAN側インターフェースのリンク状態を表示します。 「正常」：回線が正常に接続されています。 「異常」：回線の接続が未接続または異常の状態です。WAN側接続ポートのLANケーブルの接続に間違いがないか、奥までできちんと差し込まれているかを確認（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2））

項　目	内　容
LAN1～4ポート状態	LAN1～LAN4側インターフェースの各リンク状態を表示します。 「正常」：回線が正常に接続されています。 「異常」：回線の接続が未接続または異常の状態です。LAN側接続ポートのLANケーブルの接続に間違いがないか、奥まできちんと差し込まれているかを（1回抜き差しして）確認してください。（「回線を接続する」（☛P2-2））

（4）運用設定値

装置情報を表示します。

項　目	内　容
WAN側MACアドレス	本商品のWAN側のMACアドレスを表示します。
LAN側MACアドレス	本商品のLAN側のMACアドレスを表示します。
WAN側取得IPアドレス/マスク長	本商品のWAN側が取得しているIPアドレスおよびマスク長を表示します。
WAN側取得デフォルトゲートウェイ	本商品のWAN側が取得しているデフォルトゲートウェイを表示します。
セッション2： WAN側取得IPアドレス/マスク長	本商品のWAN（セッション2）側が取得しているIPアドレスおよびマスク長を表示します。

（5）PPPoEセッション設定

PPPoEセッションの有効／無効設定を行います。
PPPoE設定「接続先設定」で指定したセッション1およびセッション2の「有効」／「無効」を指示することができます。

項　目	内　容
セッション1 セッション2	有効：接続完了： 「接続モード」を「常時接続」として、PPPの接続が正常に行われました。 設定完了： 「接続モード」を「要求時接続」としてPPPoEの設定が完了しました。 本商品に接続しているパソコンなどから通信が要求されるなど、PPPの接続は必要に応じて自動的に行われます。 「自動切断までの時間」に設定した時間、接続先との通信がない場合は、セッションは切断されます。

（次ページに続く）

状態表示を確認する

項　目	内　容
セッション1（つづき） セッション2	接続失敗： ネットワークに問題があるため、PPPの接続が行えませんでした。しばらく待ってもう一度お試しください。この問題が続くときは、当社のお問い合わせ先窓口までお問い合せください。 認証エラー： PPPoE設定「接続先設定」で指定した接続先の情報が正しく設定されていません。認証内容をご確認の上、もう一度お試しください。 PPPoE処理中： 現在、PPPoE処理を実行しています。しばらく待って装置状態表示画面のPPPoE状態をご確認ください。 既に接続中： 既にPPPが接続されています。 エラー： PPPの接続中または接続先情報が設定されていません。PPPoE設定画面の「接続先設定」と「接続先」を設定してください。
	無効：切断完了： 「接続モード」が「常時接続」の場合、PPPの切断が正常に行われました。 「接続モード」が「要求時接続」の場合、PPPは切断され、「要求時接続」は無効となり、接続は自動的には行われなくなりました。 未接続： PPPは切断状態です。 「接続モード」が「要求時接続」の場合、設定は無効となっているため、接続は自動的には行われません。 PPPoE処理中： 現在、PPPoE処理を実行しています。しばらく待って装置状態表示画面のPPPoE状態をご確認ください。

（6）遠隔保守

本商品の遠隔保守の可否を設定します。

項　目	内　容
遠隔保守	本商品の設定を遠隔から行うことを許可する場合、「許可する」に設定します。 「実行」をクリックすることで、即時有効となります。 再起動後、本設定は「許可しない」に戻ります。 範囲：許可しない／許可する 【注意】必要がない場合は変更しないでください。

通信の正常性を確認する

Pingを送信する

相手先装置にPingを送信し、正常に接続できることを確認することができます。

1 メニューから「保守」－「Ping送信」をクリックします

2 「Ping送信」画面が表示されます

①Pingの送信先IPアドレスを入力します。

②「実行」をクリックします。

③いずれかが表示されます。

9 付録

パソコンのネットワーク設定

Windows Vista™以外のパソコンのネットワーク設定について説明します。下記の手順に従って、パソコンを設定してください。設定の流れは次のとおりです。

・Windows® 98 SE/Me/2000共通の設定（☛下記）
・Windows® 98 SE/Meの場合（☛P9-4）
・Windows® 2000の場合（☛P9-7）
・Windows® XPの場合（☛P9-8）
・Mac OS 9.04以降の場合（☛P9-11）
・Mac OS Xの場合（☛P9-14）

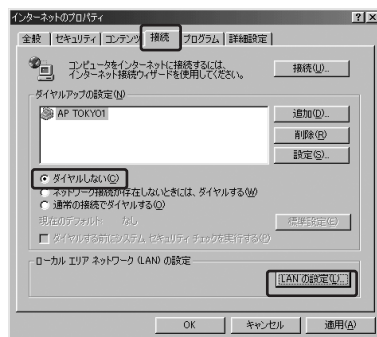
設定後は「Webブラウザの設定」（☛P4-6）に進んでください。

インターネットプロパティの設定（Windows® 98 SE/Me/2000共通の設定）

これまでインターネットに接続していた場合は、インターネットプロパティの内容を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer 6です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザのヘルプを参照してください。

1 「スタート」メニューから「設定」－「コントロールパネル」を選択しクリックします

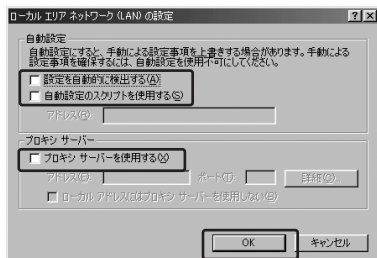
2 「コントロールパネル」から「インターネットオプション」のアイコンを選択しダブルクリックします

3 「接続」のタブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は、「ダイヤルしない」をチェックします

※ ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。

お知らせ

- Internet Explorer 5.5（サービスパック2）、Internet Explorer 6がインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合には、雑誌の付録CD-ROMなどからインストールを行ってください。また、インターネット環境が既にある場合は、マイクロソフトのホームページからダウンロードすることも可能です。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。（「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご参照ください。）

4 「LANの設定」をクリックします

5 「設定を自動的に検出する」、「自動設定スクリプトを使用する」、「プロキシサーバーを使用する」のチェックを外します

6 「OK」をクリックします

7 「OK」をクリックします

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定（Windows® 98 SE/Meの場合）

1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」を選択しクリックします

2 「コントロールパネル」から「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックします

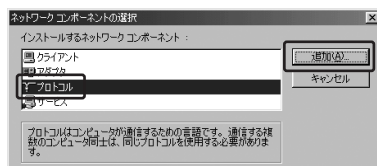
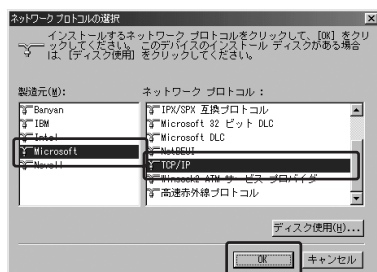
※Windows® Meにおいて、「コントロールパネル」に「ネットワーク」のアイコンが表示されていない場合は、画面に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

3 「ネットワークの設定」のタブをクリックし、「現在のネットワークコンポーネント」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LANカードの名前>」という項目を選択します

※一覧に「TCP/IP ->ダイヤルアップアダプタ」という項目が表示されている場合がありますが、これはLANカードの設定とは無関係ですので利用しません。

※一覧に「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LANカードの名前>」という項目がない場合は以下の手順で追加してください。

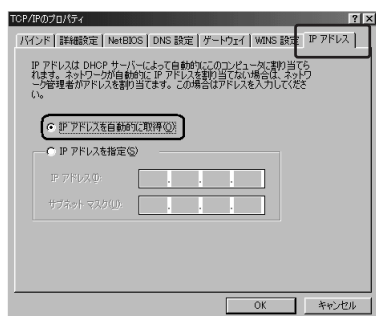
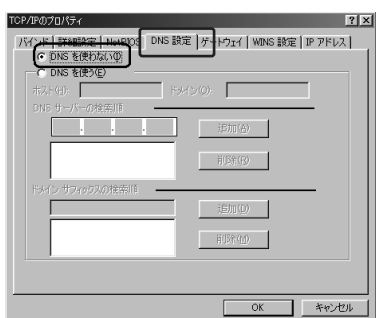
(1)「追加」をクリックします

(2)「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックします

(3)「製造元」から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択します

(4)「OK」をクリックします

(5)「OK」をクリックします

(6) 再起動の要求ダイアログが出ますので「OK」をクリックして再起動してください

4 「プロパティ」をクリックします

5 「IPアドレス」のタブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得」にチェックを入れます

6 「DNS設定」のタブをクリックし、「DNSを使わない」にチェックを入れます

7 「ゲートウェイ」のタブをクリックし、「インストールされているゲートウェイ」に何も設定されていないことを確認します

8 「OK」をクリックします

9 「OK」をクリックします

10 パソコンを再起動します

最後に「今すぐパソコンを再起動しますか？」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。
ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません。

ワンポイント

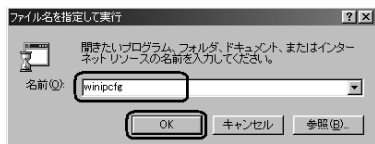
● ご利用中のパソコンによってはWindows®のCD-ROMをセットするようにメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定を確認する（Windows® 98 SE/Meの場合）

パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® 98 SE/Meでは「winipcfg」から確認することができます。

1 「スタート」－「ファイル名を指定して実行」をクリックします

2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力し、「OK」をクリックします

3 「IP設定」画面が表示されます

①「Ethernet アダプタ情報」に現在使用中のLANカードが表示されているかどうか確認します。「PPP Adapter」と表示されている場合は右側のプルダウンメニューから使用中のLANカードを選択します。

②IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの欄にアドレス情報が正しく設定されていることを確認します。

IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます（初期設定状態の場合）。

4 「OK」をクリックします

ワンポイント

● IPアドレスが「0.0.0.0」となっていた場合は、まず「解放」をクリックして、次に「すべて書き換え」をクリックしてください。この操作でIPアドレスとゲートウェイの欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。

お知らせ

● IPアドレスやデフォルトゲートウェイが正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください。

ネットワークの設定（Windows® 2000 の場合）

1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「コントロールパネル」から「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします

3 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします

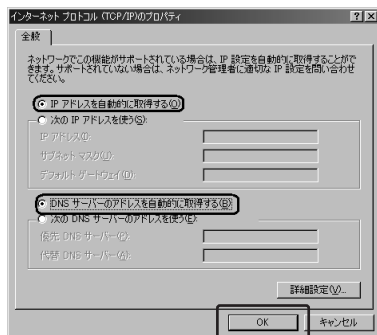
4 「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

5 「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックします

6 「OK」をクリックします

7 「OK」をクリックします

9 付録

パソコンのネットワーク設定

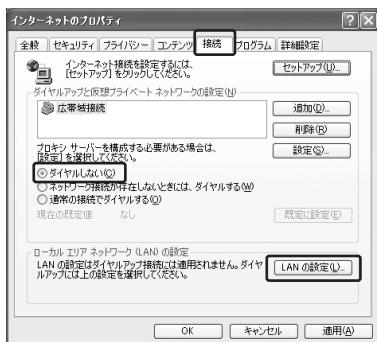
インターネットプロパティとネットワークの設定（Windows ®XP の場合）

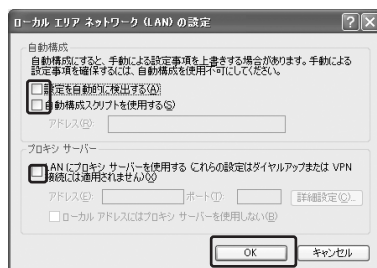
これまでインターネットに接続していた場合は、インターネットプロパティの内容を確認してください。以下の画面例はInternet Explorer 6です。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザのヘルプを参照してください。

1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします

3 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択します

※ダイヤルアップを実施していない場合はチェックできないようになっています。「ダイヤルしない」にチェックがついていることを確認してください。

4 「LANの設定」をクリックします

5 「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」、「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します

6 「OK」をクリックします

7 「OK」をクリックします

8 「ネットワーク接続」をクリックします

お知らせ

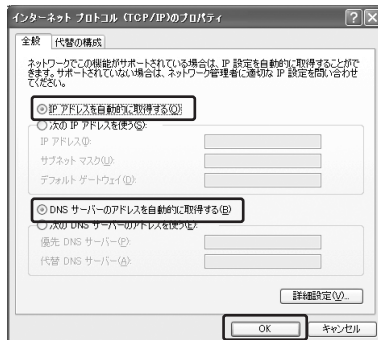
- Internet Explorer 5.5（サービスパック2）、Internet Explorer 6またはInternet Explorer 7がインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合には、雑誌の付録CD-ROMなどからインストールを行ってください。また、インターネット環境が既にある場合は、マイクロソフトのホームページからダウンロードすることも可能です。
- フレッツ接続ツールを使用する必要はありません。
- Internet Explorerを初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」が表示されることがあります。この場合「キャンセル」をクリックしてウィザードをいったん終了してください。（「インターネット接続ウィザード」の詳しい設定手順は、Internet Explorerのヘルプなどをご参照ください。）

9 「広帯域」の欄に、PPPoEの設定がされている場合は、「広帯域」に表示されているPPPoEのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください

10 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします

11 「全般」タブをクリックし、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して、「プロパティ」をクリックします

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

12 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をチェックします

13 「OK」をクリックします

14 「OK」をクリックします

9 付録

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定を確認する（Windows® 2000/XPの場合）

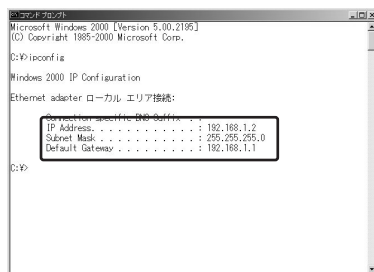
パソコン(LANカード)と本商品が正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows® 2000ではコマンドプロンプトを起動して操作します。

1 「スタート」－「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします

2 ipconfigコマンドを実行します

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数字で「ipconfig」と入力し、「Enter」キーを押します。
ipconfigコマンドを実行すると、

- IP Address（IPアドレス）
- Subnet Mask（サブネットマスク）
- Default Gateway（デフォルトゲートウェイ）

などの情報が表示されます。パソコンに各種情報が正しく設定されていることを確認してください。
IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます。（初期設定状態の場合）

ワンポイント

- IPアドレスとデフォルトゲートウェイが正しく設定されていない場合は、半角英数字で「ipconfig /renew」と入力してください。
  IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、再起動してください。

ネットワークの設定（Mac OS 9.04以降の場合）

1 Mac OS 9.04以降を起動して、ハードディスクアイコンをダブルクリックします

2 「システムフォルダ」をダブルクリックします

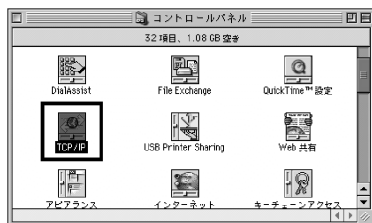
3 「機能拡張フォルダ」をダブルクリックします

4 「Open Transport」という書類をクリックし、メニューバーから「ファイル」－「情報を見る」－「一般情報」をクリックします

5 Open Transportのバージョンが2.6以上であることを確認します。確認が終わったらウィンドウを閉じます

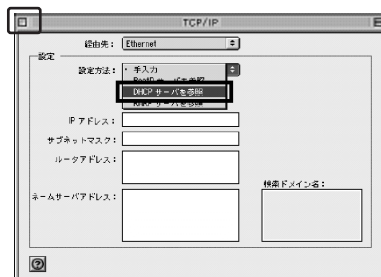
※Open Transportのバージョンが2.6以上でなかった場合は、アップルコンピュータのホームページでアップデータをダウンロードしてご利用ください。

6 「アップル」メニューから「コントロールパネル」－「TCP/IP」をクリックします

※「アップルメニューオプション」で「サブメニュー」の機能をオフにしている場合は、アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルのウィンドウが表示されてから「TCP/IP」をダブルクリックします。

7 「経由先」リストで、「Ethernet」を選択します

8 「TCP/IP」設定ウィンドウの「設定方法」リストより、「DHCPサーバを参照」を選択し、「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じます

（次ページに続く）

パソコンのネットワーク設定

9 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というウインドウが表示された場合は、「保存」をクリックします

お知らせ

- Internet Explorer5.1.6以上がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

ネットワークの設定を確認する（Mac OS 9.04以降の場合）

Mac OS 9.04以降でパソコンと本商品が正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

1 「アップル」メニューから「コントロールパネル」－「TCP/IP」をクリックします

2 ネットワークの設定が設定前と変更されていることを確認します。確認する箇所は以下のとおりです

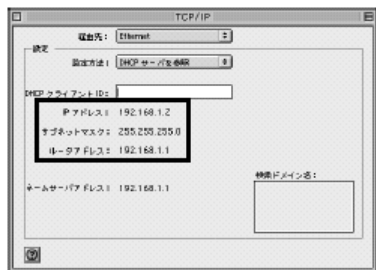
・IPアドレス

・サブネットマスク

・ルータアドレス

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

IPアドレスは192.168.1.2～192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます（初期設定状態の場合）

3 「TCP/IP」設定ウィンドウを閉じます。このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、「保存しない」をクリックします

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定（Mac OS Xの場合）

1 「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックします

2 「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします

3 「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択します

4 「TCP/IP」タブをクリックし、「設定」が「DHCPサーバを参照」になっていることと、「DHCPクライアントID」、「ドメインネームサーバ」、「検索ドメイン」が空白になっていることを確認します

5 「PPPoE」タブをクリックし、「PPPoEを使って接続する」のチェックを外します

6 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk使用」のチェックを外します

7 「プロキシ」タブをクリックし、チェックをすべて外します

8 「保存」クリックして、ネットワークの設定を保存します

※「保存」を押さないでほかの設定を行う場合、「設定の変更点を保存しますか？」というメッセージが表示されるので、「保存する」をクリックします。

9 メニューバーの「システム環境設定」－「システム環境設定を終了」をクリックします

お知らせ

- Internet Explorer 5.2.2以上がインストールされていることをご確認ください。
- 「フレッツ接続ツール」を使用する必要はありません。

パソコンのネットワーク設定

ネットワークの設定を確認する（Mac OS Xの場合）

Mac OS Xでパソコンと本商品が正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。

1 「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックします

2 「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします

3 「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵Ethernet」を選択します

4 「TCP/IP」タブをクリックし、IPアドレスが割り振られているかどうか確認します

IPアドレスは192.168.1.2〜192.168.1.11の範囲のいずれかが設定されます（初期設定状態の場合）

5 確認できたら「保存」をクリックして画面を閉じます

6 メニューバーの「システム環境設定」－「システム環境設定を終了」をクリックします

まるごと設定ツールユーティリティをアンインストールする

WBC V110M専用CD-ROMを使用して、まるごと設定ツールユーティリティのアンインストールをする方法について説明します。まるごと設定ツールユーティリティをアンインストールするパソコンに、「WBC V110M専用CD-ROM」をセットしてください。

1 「Windows® XP/2000, Windows Vista™専用まるごと設定ツール」をクリックします

2 OSを確認する画面が表示されます

Windows® 2000、Windows® XPまたはWindows Vista™であることをご確認ください。

3 [OK]をクリックすると、「WBC V110Mまるごと設定ツール」が起動します

4 「まるごと設定ツールユーティリティをアンインストールする」をクリックし、アンインストールを実施してください

5 アンインストールが正常に行われたことを確認します

アンインストール後、パソコンを再起動します。

本商品の初期化について

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して設定前の状態に戻すことをいいます。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、ご利用前の状態に戻りますのでご注意ください。（ログ情報も消去されます。）本商品の初期化には、2種類の方法があります。

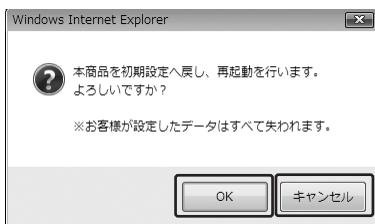
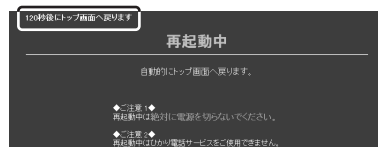
Webブラウザによる初期化

Webブラウザを利用して本商品を初期化します。

1 メニューから「再起動」をクリックします

2 「初期設定へ戻す」をクリックします

3 「OK」をクリックします

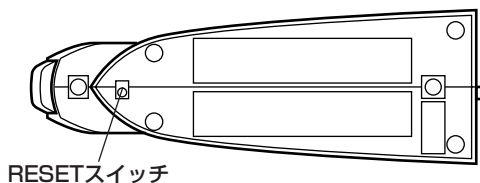
※本商品を初期設定しない場合は「キャンセル」をクリックします

4 残りの待ち時間を表示します。しばらくお待ち願います

5 「初期設定」画面が表示されればシステムの初期設定は成功です

お願い

● 再起動中は、電源を切らないでください。回復不能な故障の原因となることがあります。

RESETスイッチによる初期化

本商品底面にあるRESETスイッチを、細くて硬いもの（クリップや針金の先など）を使用して押しながら電源を入れ、INITランプが赤（点灯）になるまで押し続けてください。
起動後、INITランプが赤（点灯）になれば、初期化完了です。

〈本商品　底面図〉

本商品に設定する各種のユーザ名（ID)、パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却する場合等、本商品の利用をやめるときは、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

9 付録 ひかり電話と他のサービスの同時利用について

050IP電話およびフレッツ・セーフティとの同時利用方法

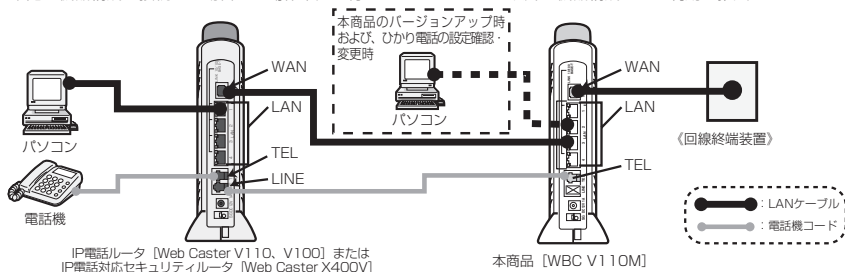
1．ひかり電話と050IP電話サービスを同時にご利用いただく場合

プロバイダが提供するIP電話サービス（050番号を利用するIP電話サービス。以下、「050IP電話」と略します）とひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず右の内容をご確認ください。

①IP電話アダプタをご利用の場合　機器構成 1－①

※IP電話アダプタ（VoIPアダプタ）と本商品を下記の機器構成で接続し、本商品を最新ファームウェア（Ver 1.1.0以上）にバージョンアップした場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

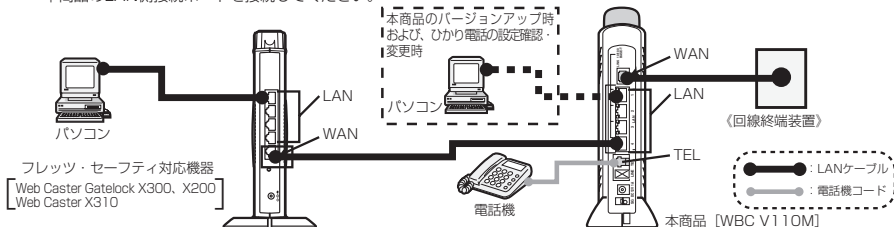
②IP電話ルータ・IP電話対応セキュリティルータをご利用の場合　機器構成 1－②

※IP電話ルータ（Web Caster V100／V110）、IP電話対応セキュリティルータ（Web Caster X400V）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

2．ひかり電話とフレッツ・セーフティを同時にご利用いただく場合　機器構成2

フレッツ・セーフティとひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず右の内容をご確認ください。

※下記の機器構成でのみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

※IP電話対応セキュリティルータ（Web　Caster　X400V）をご利用の場合は、「1－②」に記載されている機器構成で050IP電話のご利用も可能です。

※この構成図はWeb Caster X310の場合で記載しております。 他の機種をご利用の場合は「WAN」と書いてあるポートと本商品のLAN側接続ポートを接続してください。

【ご利用上の注意事項】

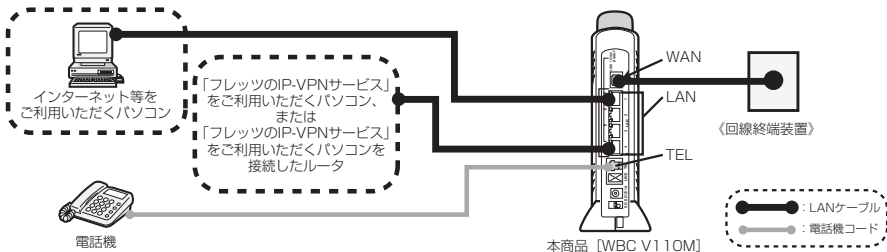
左記の構成でひかり電話と050IP電話およびフレッツ・セーフティをご利用いただく場合、以下の点にご注意ください。ご利用の機器構成ごとにご注意いただく事項が異なりますので、下記の「対象となる機器構成」欄にてご利用の機器構成をご確認いただき、「★」が記載されている場合に該当する注意事項をご確認ください。

対象となる機器構成			注意事項
1−①	1−②	2	
	★	★	**（1）インターネット接続の設定方法に注意してください。** インターネット接続の設定（プロバイダから提供される接続ユーザ名・接続パスワードなど）は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータにて行ってください。本商品には設定しないでください。 パソコン / IP電話ルータまたは IP電話対応セキュリティルータ（インターネット接続の設定を行う） / 本商品（インターネット接続の設定は行わない） ※インターネット接続の方法は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータの設定ガイドをご覧ください。 ※パソコンはIP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータに接続してください。（本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。また、本商品に接続したパソコンは、フレッツ・セーフティをご契約であっても、ウイルスチェック機能や不正アクセス対策機能をご利用いただけません。）
★	★		**（2）本商品の「バージョンアップお知らせ機能」の一部機能がご利用いただくことができません。** 050IP電話と同時利用する場合は、電話機から本商品のバージョンアップ通知音は聞こえません。IP電話アダプタおよびIP電話ルータ／IP電話対応セキュリティルータのファームウェアのバージョンアップお知らせのみとなります。本商品の[ファームウェア更新種別]を「定時更新」に設定するなどしてバージョンアップを実施することをお勧めします。 ※1-①の機器構成の場合、IP電話アダプタのファームウェア更新があるときは、更新作業時のみIP電話アダプタにパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成） ※1-②の機器構成の場合、パソコンからバージョンアップするときは更新作業時のみ本商品にパソコンをつなぎ変えてください。（図の点線部の構成）
★	★		**（3）「ひかり電話」と「050IP電話」の使いわけにご注意ください。（050IP電話ご利用時）** 050IP電話で接続できない番号（110・119等）以外は、すべて050IP電話での発信となります。「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信してください。その他の050IP電話ご利用上の注意については、IP電話アダプタおよびIP電話ルータ／IP電話対応セキュリティルータの取扱説明書をご確認ください。（「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み替えてください。）
	★	★	**（4）本商品の「PPPoEブリッジ設定」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「PPPoEブリッジ設定」が「有効」となっております。「無効」への設定変更は行わないでください。
★			**（5）本商品の「UPnP機能」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「UPnP機能」が「セッション1有効」となっております。その他の設定への変更は行わないでください。

ひかり電話と他のサービスの同時利用について

「フレッツのIP-VPNサービス」※との同時利用方法

「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」、「フレッツ・グループ（NTT西日本）」を同時にご利用いただく場合、または「フレッツ・オフィス（NTT東日本/NTT西日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」に同時に接続する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますのでご確認ください。
※「フレッツのIP-VPNサービス」とは、「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」、「フレッツ・グループ（NTT西日本）」「フレッツ・オフィス（NTT東日本/NTT西日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」の総称です。

「フレッツのIP-VPNサービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサービスコンセプトとしており、１台のルータ・パソコンでVPN接続とインターネット接続を同時に利用しないことを推奨しておりますので、ひかり電話をご利用の場合は、以下の接続設定を行ってください。

◆接続設定について

①「フレッツのIP-VPNサービス」の接続設定を行う

【１台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】
「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。

【複数台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】
「フレッツのIP-VPNサービス」の接続先を設定したブロードバンドルータを、本商品の下部（LAN側接続ポート）に接続し、そのブロードバンドルータ下部（LANポート）に「フレッツのIP-VPNサービス」ご利用のパソコンを接続してください。

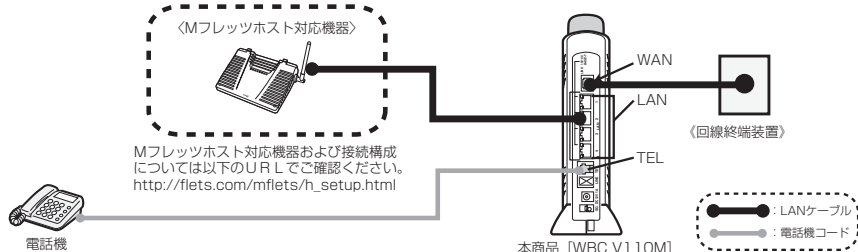
②インターネット等の接続設定を行う

Webブラウザの設定画面から、本商品に接続先を設定してください。
※「まるごと設定ツール」を使用してインターネットの接続設定を行うと、「フレッツのIP-VPNサービス」との同時利用ができない場合があります。

【ご利用上の注意事項】

・上記の通り接続設定を行わない場合、本商品のバージョンアップお知らせ機能はご利用いただけません。
・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ設定」が「有効」となっておりますので、「無効」への変更は行わないでください。

「Mフレッツホスト（NTT東日本）」との同時利用方法

Mフレッツホストとひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず下記の内容をご確認ください。

【ご利用上の注意事項】

・ひかり電話とMフレッツホストを同時利用する場合、必ず本商品にインターネットの接続設定を行ってください。
・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ設定」が「有効」となっておりますので、「無効」への変更は行わないでください。

ASCIIコード表

ASCII（American Standard Code for Information Interchange 情報交換用アメリカ標準コード）とは、1963年にANSI（American National Standards Institute アメリカ規格協会）によって定められた情報交換用の文字コードです。16進数2桁（7ビット）で34文字の制御コードと94文字の文字コードを構成し、英数字（a～z、A～Z、0～9）と基本的な記号（!、#、$、&など）を表現します。

上位3ビット / 下位4ビット	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAC	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF/NL	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	|
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

※本書でASCIIコードと記載している場合は上記表の網掛け部分を除いた文字・記号を示します。

索引

アルファベット

五十音

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【ナ行】

【ハ行】

【マ行】

【ラ行】

仕様

項　目	仕様	記事
WANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX（IEEE802.3/802.3u） X1ポート（RJ-45）	
LANインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX（IEEE802.3/802.3u） X4ポート（RJ-45）	
電話機インタフェース	収容回線数：1回線（RJ-11）	
無線拡張インタフェース	PC Card Standard（Card Busインタフェース） TYPEⅡ	Web Caster FT-STC-Va/g専用
使用電源 消費電力	AC100 V ± 10 %　50/60 Hz 最大12W	
外形寸法	約70（W）× 207（D）× 216（H）mm	突起部を除く
質量	約550 g	商品本体のみ
動作環境	温度：0 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 85 %	結露しないこと
EMI	VCCI クラスB	
情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）	クラスB情報技術装置	

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：【NTT東日本】http://web116.jp/ced/
：【NTT西日本】http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方でご不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

0120−710444（9：00〜21：00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります）
03−5667−7200
年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンの接続・設定等に関するお問い合わせ

0120−275466（24時間　年中無休）

携帯電話からご利用の場合（24時間　年中無休）（通話料金がかかります）
0570-005202
※PHS・050IP電話・ひかり電話からはご利用いただけません。

●故障に関するお問い合わせ

0120−242751（24時間　年中無休※）

※故障修理等の対応時間は9：00〜17：00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

0120−109217（トークニイーナ）（9：00〜21：00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合
東海、北陸、近畿、中国、四国地区　06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区　092-720-4862（通話料金がかかります）
※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

0120−248995※1（24時間　年中無休※2）

※1 携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※2 故障修理等の対応時間は9：00〜17：00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。（2007年6月現在）

本2605-5（2007.7）
WBC V110Mトリセツ<M>
3PP1158-5586P005 Ver1.0